

H I R A K U

# 拓く

令和4年度広報誌

2022

vol.39



九州栄養福祉大学大学院  
九州栄養福祉大学  
東筑紫短期大学

# 筑紫の心

勇氣・親和・愛・知性

教育とは心の畑を耕すことあります。  
 ともすれば草を生え茂る狭隘して瘦せ  
 細い心の畑の草をむり肥料をつかい  
 新生する芽を伸ばしていつか心に教育の  
 使命があります。  
 東筑紫学園の建学の精神は教職員  
 学生生徒が心と心と心と勇気親和  
 愛知性の四つの芽を心の畑に種蒔き育て  
 いくことあります。  
 筑紫の心は国を愛し労働をいとわず親や  
 祖先とあがみこれをむすとして社会奉仕  
 する人間像を理想としています。

学園長 宇城信五郎

## 東筑紫学園沿革

### 八十七年のあゆみ

- 昭和11年3月 筑紫洋裁女学院を創立。
- 昭和18年11月 財団法人東筑紫技芸女学校創立。理事長、校長に宇城信五郎就任。
- 昭和22年3月 財団法人東筑紫技芸女学校を財団法人東筑紫学園に改称する。理事長に宇城力子就任。
- 昭和22年3月 専門学校令による東筑紫女子専門学校を設置し、校長に宇城力子就任。
- 昭和22年4月 学制改革により東筑紫技芸女学校が東筑紫女子中学校となる。
- 昭和23年3月 東筑紫高等学校を設置し、校長に宇城力子就任。
- 昭和25年3月 東筑紫短期大学設立、被服科設置、学長に友枝高彦就任。
- 昭和25年8月 理事長に宇城信五郎就任。
- 昭和26年3月 財団法人東筑紫学園を改め学校法人東筑紫学園とする。理事長に宇城信五郎就任。
- 昭和26年4月 東筑紫幼稚園を設置。
- 昭和26年9月 東筑紫短期大学開学により東筑紫女子専門学校を廃止に廃止。
- 昭和27年11月 初代学長友枝高彦辞任し、後任に宇城信五郎就任。
- 昭和29年4月 短期大学に保育科増設。
- 昭和31年11月 創立二〇周年記念式典挙行。
- 昭和33年3月 講堂完成。
- 昭和33年4月 短期大学に栄養科増設。
- 昭和38年4月 東筑紫高等学校を東筑紫短期大学附属高等学校に、東筑紫女子中学校を東筑紫短期大学附属中学校に、東筑紫幼稚園を東筑紫短期大学附属幼稚園にそれぞれ名称変更。体育館完成。
- 昭和38年4月 短期大学栄養科を食物栄養科に名称変更。
- 昭和41年4月 一号館完成。
- 昭和41年5月 創立三〇周年記念式典挙行。
- 昭和44年4月 短期大学被服科を被服専攻と服飾美術専攻に専攻分離。
- 昭和46年4月 学長宇城信五郎辞任し、理事長専任となる。学長に根津菊次郎就任。
- 昭和49年6月 学長に宇城信五郎就任。
- 昭和51年4月 創立四〇周年記念式典挙行、鉄筋4階建記念図書館完成。
- 昭和55年3月 学友会館完成。
- 昭和55年6月 学長に宇城力子就任。
- 昭和56年1月 三号館完成。
- 昭和56年5月 創立四十五周年記念式典挙行。
- 昭和57年1月 学園創立者・理事長宇城信五郎死去。
- 昭和57年2月 理事長に宇城力子就任。
- 昭和60年9月 宇城記念館完成。
- 昭和61年4月 東筑紫短期大学附属中学校を東筑紫学園中学校に名称変更。
- 昭和61年11月 創立五〇周年記念式典挙行。
- 平成元年4月 短期大学被服科を生活文化学科に、保育科を保育学科に、食物栄養科を食物栄養学科にそれぞれ名称変更。
- 平成2年4月 東筑紫学園中学校を照曜館中学校に名称変更。
- 平成3年11月 学長に宇城照曜就任。
- 平成4年4月 創立五十五周年記念式典挙行。
- 平成4年4月 東筑紫短期大学附属高等学校を東筑紫学園高等学校に名称変更。

## Contents

## 学校法人 東筑紫学園

- 02 本学の建学の精神「四つの心・四魂」の基本概念  
学校法人 東筑紫学園 理事長  
九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長 室井廣一

## 九州栄養福祉大学

## 食物栄養学部

- 12 杉元康志 学長補佐・学部長  
大学院・健康科学研究科 研究科長

- 14 食物栄養学科 安倍ちか 学科長

- 15 食でつながるフェスタin北九州 開催報告

## リハビリテーション学部

- 16 高橋精一郎 学長補佐  
石橋敏郎 学部長

- 17 理学療法学科 廣滋恵一 学科長

- 18 作業療法学科 淵雅子 学科長

- 19 北九州市進路選択支援事業プログラム実施報告

- 20 令和3年度 食物栄養学部 就職状況報告

- 21 令和3年度 リハビリテーション学部 就職状況報告

## 東筑紫短期大学

- 22 保育学科 寺本普見子 学科長

- 23 食物栄養学科 土谷政代 学科長

- 24 専攻科 久門裕子 科長

- 25 免許・資格取得者数・サークルレポート

- 26 令和3年度 東筑紫短期大学 就職状況報告

## その他 案内・報告等

- 28 令和2年度 研究紀要

- 29 令和3年度 研究紀要

- 30 日本リハビリテーション発祥地記念館 来訪者報告  
サークルレポート

- 31 令和4年度 周望学舎シニアカレッジ  
令和2年度・3年度 北九州市民カレッジ

- 平成8年10月 創立六〇周年記念式典挙行。  
平成10年10月 九州栄養福祉大学、東筑紫短期大学専攻科設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。  
平成13年2月 二号館完成。  
平成13年2月 理事長に宇城照輝就任。九州栄養福祉大学設立、食物栄養学部・食物栄養学科設置。  
平成14年4月 学長に宇城照輝就任。東筑紫短期大学学長に室井廣一就任。  
平成15年4月 短期大学に専攻科(介護福祉専攻)設置。  
平成15年12月 学園創立者宇城力子死去。  
平成16年4月 九州栄養福祉大学学長に室井廣一就任。  
平成17年4月 専門学校九州リハビリテーション大学校を継承・開学。学長に室井廣一就任。  
平成18年4月 九州栄養福祉大学大学院設立。(食物栄養学専攻修士課程)  
平成18年4月 短期大学に美容ファッションビジネス学科を設置。  
平成18年12月 創立七〇周年記念式典挙行。  
平成19年4月 専門学校九州リハビリテーション大学校を四年制専門学校高度専門士課程に変更。  
平成21年4月 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。  
平成23年4月 九州栄養福祉大学にリハビリテーション学部理学療法学科 作業療法学科を設置。  
平成24年4月 九州栄養福祉大学大学院・健康科学研究科に名称変更。  
平成26年3月 専門学校九州リハビリテーション大学校閉校。  
平成27年2月 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。  
平成27年4月 日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館館長に室井廣一就任。  
平成28年4月 日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館設立。  
平成29年3月 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園舎完成。  
平成29年4月 幼稚園型認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園を開設。  
平成29年10月 学園創立80周年記念式典挙行。  
平成30年12月 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学学生食堂・団体給食実習室棟完成。  
平成31年3月 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学講堂兼体育館完成。  
令和3年3月 東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科廃止。  
令和4年4月 学校法人東筑紫学園理事長に室井廣一就任。

# 本学の建学の精神「四つの心・四魂」の基本概念 (The concept of four spirits)



室井 廣一  
MUROI HIROICHI

学校法人 東筑紫学園 理事長  
九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長

## はじめに

今回は本学の建学の精神・「四つの心」の基本について簡単に述べてみたい。このスクールアイデンティティを説明することはなかなか難しいのであるが一度概略まとめておきたい。

大学というところは、専門分野の勉強だけでなく、自分とは何か自分の心とは何かということも学ぶところである。

本学では自分の「心の畑で育む四つの芽」という視点から自分とは何かと

いうことを探し始めていく。

皆さんは自分の心の四つの芽をしつかりつかまえて、これを手掛かり足掛かりにして一つの大きな生命力を見つけ出し大きな人間になり立派な人格形成をしていただきたい。

コロナ感染危機のなか、行事教育も学長講話などもなかなか難しい折、本学園創設者・宇城信五郎の教育思想の核心の部分だけでもまとめておくことの重要性を感じ本学教育理念の概要をまとめてみた。この小論は創設者の教育思想を学び継承し探究しようという者のささやかな試みである。

## 学校法人東筑紫学園創設者 宇城信五郎の教育思想

学校法人東筑紫学園・九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学は食とリハビリ、幼児教育、介護という専門分野を学びながら建学の精神に基づいた人格の四つの心・四つの生命力・即ち「勇氣・親和・愛・知性」の発動・発展・統合・調和の方法も学び、専門的力と人格的力の両方を同時に学んでたくましい人間形成をするという教育方法を持った大学である。

高度な専門分野を修得し国家資格(国家的資格)の取得を目指しながら、一方で「四つの心の全き」を目指するという教育方法はカリキュラム構想上難しいように思えるが、実践してみればかなり有効な実学的方法なのである。

この人格教育の根本に「勇氣、親和、愛、知性の四つの芽を心の畑に種蒔き育てていく」「筑紫の心」という建学の精神がある。創設者・宇城信五郎(明治22年・1889年3月1日〜昭和57年・1982年1月26日享年満92歳

10か月)が我が国に伝わる神道の宗教思想を基盤に東筑紫学園の建学の思想として教育理念として提示したものである。そもそもこの教育思想の原核は本田親徳(文政5年・1822年1月13日〜明治22年・1889年享年67歳3か月)、出口王仁三郎(明治4年・1871年8月27日〜昭和23年・1948年1月19日享年76歳4か月)などによって提示された「一霊四魂」という宗教思想に由来する。創設者は大本教に入り聖師・出口王仁三郎のもとで修業し聖師の勧めもあり北九州市に学校を創設することになる。

その教育理念の根幹が四つの心を発動し発達させ合わせて円満な一つの心・「全き心(total vitality)」を創り、その心をもって「己をむなしくして社会に奉仕する人間」を育てようというのである。ここが大切なところである。四つの心と言っているが本来は一つの心である。考える上で四つに分けているだけである。分けて考えることの難しい心もある。自分の根源の生命力(四つの心)は自分で自力でつかまなければ本物をつかめない。偽物ではだめなのだ。人は

自己の本物の四つの心をつかんで強くなる。生涯をつらぬく不屈の夢目標・

務めをもてば更に強くなる。自己の心身を磨き上げまっさら真澄になるお掃除法と「三つの反省力」を体得すれば本当に大きくたくましくなる。自分なりに四つの心を発動発展させまとめ上げれば立派な人間になれると思う。

本学の建学の精神に基づく人格形成の基本概念(basic concept of personality formation)を学んで自分が何者であるかを探究する手がかりとし、自己固有の人格形成の可能性に挑戦してもらいたい。

#### 四つの心・四つの生命力とは

勇氣(courage)・荒魂あらいたま

自主的で主体的で積極的な心。

「進んでやれる元気な心」 自分及び他者を勇氣づける心。

行動を目指して沸々と心の奥底から湧き出る情熱・意欲。自分の最深部から湧き出してくるやる気のマグマ。自己の意識拡大の出発点。自己の目標に向かって不屈のnever

give upの精神、折れない、挫けない、倒れない、終わらない生命力。

あらゆる抵抗、ストレス、苦しみ、妨害の暗闇を耐えて忍んで打たれ強く乗り越えてゆく荒魂。有名な荘子の「二十万人といえども吾ゆかん」というような気概、持続力、決断力をいう。

文字通り目標に向かって勇む心、勇猛心である。しかし一方ではじつとその場に踏みとどまり、耐え忍び、勇氣をもって退く自己抑制心の側面を持つている。老子の「和光同塵」の思想なども参照。忍耐力、打たれ強い心。

「打たれても打たれても、なお打たれても いまだ挫けぬ荒魂 百年越しに我が夢を追う」  
勇氣の心は様々な試練、極限状況を乗り越え「勇の全き」を得て魂化する。

親和(friendship, affinity)・和魂にぎみたま  
相手を受け入れ支え共感する心。  
「みんなと仲良く遊べる心」

他者や様々な事物を受け入れ親しむ心。親和力。適応力。受容力。万物に親しみ相合する心。コミュニケーション能力。

万物を受け入れる大度量。自分の好意的環境では容易に挨拶もでき、親和力の発動はしやすいが否定的環境では

難しい。そこを乗り越え進んでできる御挨拶。進んでできる御挨拶から「報・連・相」そして寿ぎ(ことほぎ)・「人の

善きことをいうを楽しむ」まで親和力を高める。好きな人だけではなく嫌いな人も、いいことだけではなく嫌なこと、「きれいなこと」だけではなく「汚れたこと」も受け入れることのできる「清濁併せ呑む」大きな腹(大腹・大度量)を持つことも「和魂・親和力」である。

「許せない人をも許す和魂 わが親和力に限りなし」  
和の心は様々な試練や極限状況を乗り越え「和の全き」を得て魂化する。

愛(affection)・幸魂さちみたま  
人を育み慈しむ心。慈愛の心。「お父さんお母さんにももらった優しい心」  
人を慈しみ育てる心。母性愛。万物を育み慈しむ心。万物に感謝する心。  
世界万物を消滅流転させている根源の生命力への畏怖心。

創設者はこれを神愛と言っておられた。両親祖父祖母先そして根源者に至る生成化育の愛を指している。根源者から我々に至るまで連綿として連なっている他者を育み慈しむ心のことである。やはり他の三つの生命力の発動発展の重要な反省判断基

準となっていないのではないか。少なくとも根源者の生成化育の愛に反するような行いは慎まねばなるまい。

「恵み」という視点から考えれば感謝の心などもここに入る。自分の恵まれた時などと考えれば、天が与えてくれた「千載一遇のチャンス」等も幸魂と言っていいたいだろう。

「自己を生み他者をも生かす幸魂 万物を生かし育みいつくしむ」  
愛の心は様々な試練や極限状況を乗り越え「愛の全き」を得て魂化する。

知性(intellect)・奇魂くしみたま  
目標達成に向かって冷静に積極的  
に学び考える心。  
「なぜかなあ、どうするのかなあ」と考える心」  
理性、知性の働き、探究心、分析力、認識力、知識や技術を修得する働き。頭から腹に落として中心中央で考える心。

自己を生き抜くための生活の知恵。対象から一定の間合いをとり離れて発する客観的な心。自己の人生の目標を実現するための様々な方法・技術・創意工夫などを生み出す生命力。自己の人生の目標を長期中期短期と分けてそれぞれの段階の戦略や戦術を

立てたりする心。大袈裟に言えばこの世の中の森羅万象を読み解いていく力。

創設者は四つの心を四文字で記すときは「勇・親・愛・智」とし「勇気・親和・愛・知性」と七文字の時は「智」を「知性」と表記し語っている。

「冷静な心に潜む奇魂 わが人生の危機を救出」

「智」の心は様々な試練や極限状況を乗り越え「智の全き」を得て魂化する。

以上の四つの心・生命力を発動統合発展調和させていくには、理解し意識し自覚していくことも大切であるが自分の当面する目標に向かって現実的に努力を傾注し実践し工夫を積み重ね自ら四つの心・力を創造していく過程が重要である。この自力の創意工夫の積み重ねが四つの心を大きく引き出していくからである。

以下四つの心を育む大切な四つの視点を記す。

### 建学の精神・四つの心と身体

四つの心を育てるといふ視点で当然

に考えておかなければならないのが、この四つの心が住んでいる体である。この体と心が一体的に動いていなければ夢目標などといつても実現は難しい。観念的でなく日常生活の体の中で習慣化され根付いていなければ本物の自己実現などはむづかしい。人生百年時代と言われる昨今なおさらのことである。

心身一如という言葉があるように、四つの心と自分の身体は不可分である。現実的には切り離して考えることはできない。四つの心を支えているのはこの肉体である。しかし四つの心がしつかり発動しまとまっていないうと身体にも不調が生じるし、その逆もまた同様である。

創設者の師であった出口王仁三郎も、その「先師」であった本田親徳の「故に其の霊を守るものは其の体、其の体を守るものは其の霊。他神有りて之れを守るに非ざる也。」（鈴木重道編『本田親徳全集』36頁 出口王仁三郎全集第一巻431頁も参照）を引用し共通認識している。ここで霊と言っているのは「四つの心」（二霊四魂）と一応考えていいがなかなか難しい。体と言っているのも単なる物質的なものではない。

この四つの心が積極的に肉体形成に関わっているということも否定できない。尚、本田親徳も出口王仁三郎も、

「二霊四魂」と「三元八力」を語っているが、ここではその霊妙な重要な関係性を指摘するだけにとどめる。

持つて生まれた体ではあるが自分の思いで削り上げてきた体であることも真実である。武道家などを志した人はそういう思いが強いと思う。大抵の人は自分の持つて生まれた身体状況に満足している人はいないと思う。まして自分の思うように体を動かすことができるという人もなかなかいないと思う。いろいろと努力鍛錬し自分の思う方向に削り上げてきた面のあることは否定できないのであるが心のままにというわけにもいかないというところである。それどころか体

だつてそれぞれの部分から複雑に形成されておりその体なりの連動的均衡統一を図ることは、四つの心を均衡すると同じくとても大変なのであり、身体方面からの四つの心への影響もかなり大きいものがある。この双方の関係についてはなかなか難しいところがあり簡単に語れることではない。

私は72歳になるがどちらかというと生まれつき怠惰で軟弱な方であり体に自信があるタイプではない。さほど運動神経に恵まれた方でもない。身体論を語れるような修行をしてきたわけでもない。それでもこの年まで自分の

務めを持続できたのは基本的にはこの体が健康であつたからであろうが、本学に就職し創設者から四つの心とお掃除実践の大切さを学んで来たからだと思ふ。それでも身体という視点から真剣に考えるということもなかった。

思えばこの年まで、自分の四つの心と目標、欲求のために、その心の赴くままにどれだけこの身体をこき使つてきたであろうか。四つの心が発動、発達、発展、統合を、あるいは反対に挫折、縮小、後退、亀裂を繰り返す中で、どれ位この体に負担を強いてきたことか、どんな状態になろうともこの体は自己の夢目標に向かつて四つの心の展開を支えてきているのである。我々の四つの心は言うまでもなくこの身体の中に住みなしている。この四つの心の赴くままに身体は使われているのである。まるで夕ダのように。

確かに、何十年も使つても手足等は擦り切れて使用不能にはならないから夕ダのようにも思えるのである。よほど身体の病氣や故障の時以外少なくともそういう一面があることは事実であろう。更にこの体は直接的には両親から与えられたものであるから、自分で苦労して作つたわけでもないから本当に在つて当たり前という風に考えがちである。

しかし考えてみると体の方も心の在り方に大きく関わってきている。自分の身体状況が自分の行動を大きく規制してきていることも事実である。

心の使い放題に対しては頭痛や腰痛や鬱的気分を引き起こし、それなりの抵抗的反応を示してきているのである。その反応をよく考えながら自分の心中心の生き方だけではなく体の方からも自分を考えて見なければなるまい。四つの心の発動発展統合も大切だが、体の方も頭から足腰、手足の指先まで統一的に連動的にリズムカルに動くかどうかということが大切なのである。四つの心がかんだ目標を体の中に根付かせ両者が日常生活の中で習慣化していかないと自己実現などは難しいものである。心と体の両方からよく自分の夢目標を追いかけていかなければ生活者の実学は修得困難になる。「全き生命力」の発動も難しくなる。

少なくとも四つの心の一つ一つが発動する時に、それにふさわしい自分なりの身体状態が対応発動できるかどうか、「荒魂・勇氣」、「和魂・親和」、「幸魂・愛」、「奇魂・知性」発動の時のそれぞれの体の姿勢位は自分なりの構えを考えて毎日訓練し身体動き・状態を点検し身体の連動リズム

を確認し体の手入れを怠りなくしなければならぬ。そのためにこそ日々

身体のお掃除が年とともに大切になってくる。肉体年齢が高齢化するに従い環境や道具そして心のお掃除の他に体のお掃除が重要になってくる。心や環境のお掃除だけではだめなのである。例えば、毎日のお風呂一つとっても、只お風呂やシャワーで自己の体を洗い流すだけではなく、足の指一本一本を感謝の念を込めながら「こんな重い体全部を背負ってくれて毎日毎日ありがとう」という感謝の念を表しながら揉みほぐしきれいにしていくことが大切なのである。毎日四つの心を発動しながら手入れしてゆかねばならない。そういう体のお掃除の積み重ねと、心と体の通い合いが健康を創り出し自己の夢目標を支えてくれるのである。文字通り健康とは、健やかで康らかな心と体の状態を保ちながら四つの心と体が円滑に目標に向かって作動している心身状態である。この双方を結ぶ基盤がしっかりとあれば夢はその中には含まれており死滅することはない。様々な危機的状況にも対処していけるし敗者復活戦だって可能である。夢破れても「統一把握された心身基盤」が無傷で残っているからである。

百年時代を生きる夢目標そしてそれに向かう四つの心と身体、これらを統一把握して本当のその人固有の実践行動が始まる。創設者は「行動は全き」と言う。この意味がよくは分からなかったが、ここでの四つの心と体の通い合うような統一を目指しながら、己の夢目標に向かう心身の持ち方の大切さを意味していたのではなかったのか。つまり四つの心と体の「全き」をはらみ「全き」に向かう日々の実践行動がとても大切という意味ではなかったのか。ここで「全き」に向かうとは単なる夢目標の実現ということだけではなく、そういう自己の務めの達成を通して神から与えられた使命を果たしながら到達する聖なる境地を表している。最初から「全き」行動が自覚されているということではない。「全き」をはらむ行動が重要ということである。その「全き」行動がやがて四つの心とそれにふさわしい体自分なりに創り上げ夢目標を実現しながら「全き」世界に向かうということである。そしてそういう行動の積み重ねこそ先生の言う「惟神の道」だったのである。

（お掃除をしながら私の中に芽生えた「全き生命力」という言葉はそういう自分の生きる道を探し四つの生

命力に出会いそれを支える身体を把握する出発の概念であり、そこに夢目標を設定実現していく目標の概念でもありその夢目標の根本に向かつて様々な創意工夫を凝らして到達しようという到達性の概念でもある。矛盾を含んだ多義的言葉である。自分でも手に負えないのだが、もとはと言えば、創設者のこの言葉に端を発している。令和3年1月12日）

「四つの心の自覚と発動・発展」  
調和そして夢目標とお掃除

基本となるのは四つの生命力で、これをしっかりと自覚するということが大切である。この場合、自分の力だけではなく、潜在している両親・祖母・祖先・根源者から頂いたその四つの力の雄大な非連続的連続性までも自覚しなければなるまい。そして更にそれらを発動し発展させ蓄積し大きくまとめ自分の目標に向かつて一生涯生き抜く強力な地に着いた生命力として自力でつかみとっていくことが重要である。

特に子育てやリハビリ、食指導、介護という基本的な生活世界で、皆さん

を必要としている人達の心身に新たな生命力を引き出し吹き込むことを生涯の務めとする人は、この四つの生命力をよくよく理解し自分のものとしてかからなければならぬ。四つの生命力を引き出すことは簡単なようで難しいし、なんといつても自分に「持っていないものは引き出せない。これが一番大事なところである。肝心「かなめ」の所。

そして更に、その生命力を使って何をやるのかという夢・目的意識も重要である。それがなければ四つの生命力は引き出せないからである。一口に言えば、このところはどちらが先か難しく、つまり、四つの生命力を引き出すのが先か、その生命力を使う夢目標が先か、恐らくここはどちらが先か区別できないと思う。特に荒魂・勇氣などは夢目標を内包している概念のようにも思える。難しいところ。大切なことは四つの生命力と共に自分のやりたいこと、大きな夢や希望や務めをはっきりとつかみ取るという事である。少し難しいと思うが、四つの心が出揃えば、そこに自然に夢や希望が浮かび上がってくるのではないか。逆に言えば自分の夢や希望がはっきりすればそこに四つの生命力が浮上してくるということである。ここで

もう一つ大事なことは直面する夢目標の実現のための創意工夫であり、その自己創造力の蓄積が新たな四つの心・生命力を引き出してくる力になるということである。

何にも自分はやることがないとか、やりたいということが何にもないという人は、四つの心がまだ十分に育っていないか、四つの心の内の四分の一だけとか、しかも表面表層の上っ面だけで「ヨコの広がり」と「タテの深み」がないからだと思う。そういうことではどうかと思う。表面表層の四分の一ではなくて「勇氣・親和・愛・知性」全部、四分の四・ヨコタテ揃ってトータルが出て来るのが本物である。全部発動して「四つ良か魂(たま)良き心」ということになる。全部である。それを「全き生命力」といってもいい。

自分の務めや夢が見えない、あるいは実現ができないという人は、四つの心が育っているか、育つていても四つの心のバランスが取れているのか、四つの心を発展させる夢目標がしっかりしているか、その目標に向かうやり方に地に着いた現実的基本的方法が出来上がっているのかという事を静かに考えてみる必要がある。

我々は本来本当の「ひとまとまりの生命力」を持っているから、それを

引出し自覚していくことがとても大事なのである。長い人生の中で四つの心の発動と調和を繰り返し大きな人間になって自分を創っている全き生命力を認識できる人格を創り上げることが大切である。

まずは四つの心を自主的に発動する意識自覚を持つ。順番があるわけではないがまずは「荒魂・勇氣」の発動である。部分的で表面表層の心だけではだめ。四つの深いところまで主体的に引き出していく努力工夫。まとめである。ここが分からないとこの学校に來た意味が問われる。本当に強い自分になれない。四つの心を全部深く「タテ」に発動し深めていく。勇氣と言ったって威張り散らすような勇氣から、積極的な勇氣、じつと我慢する勇氣、打たれ強い勇氣と深いものがある。

次に発動した四つの心をまとめ結んで統一していく努力が必要。勇氣や自我が強すぎて人とうまくいかず親和の心が抑えられたり、親和の力が強すぎて勇氣の心が減退したり、親和の力や愛の力が強すぎ現実を生きていく主体性が弱くなったり、知性が強すぎ観念過剰になり現実的行動力としての勇氣を失ったりということ、なかなかこの四つの心の均衡をと

るのは簡単ではない。だから、この勇氣・親和・愛・知性の四つを調和させ本当の生命力に到達する自覚を持つことが大切なのである。一つ一つの心をタテに深く掘り下げながら四つの心をヨコにバランスをとって広くしていく。そして四つの心の調和・ハーモニーを創っていく、自分なりにまとめしていく。このまとめでハーモニーを創っていくのは簡単ではないが一人一人のやり方・工夫があると思う。皆さん一人一人がどうしたらその四つの心を自分なりに引き出してまとめ、自分の夢や務めを実現していく「自分なりの強い人間」になれるか、それが大問題である。その大問題がある程度解けないと責任ある大人にはなれないのではないか。この大問題が解ければ自分本来の強い生命力が出てきて、自分のやりたいこと、一生通してやるべきことが見えてくるのである。

こういう四つの大きな心を引き出しまとめ自分の夢目標に向かっているためにもう一つ大事なことがある。創設者宇城信五郎先生から学んだが、それは毎日自分の心と体を洗う、お掃除する、自分の心と体がいる場所、使っている道具をきれいにするということである。そうすれば自分自身の心身をきれいに整理しながら、新

鮮な新しい力が自分の中から湧き出し又入つて来るようになり、自分の夢や希望や務め、明日から何をしなければならぬかということも心の心が整理整頓され見えてくるようになる。不思議である。お掃除が行き届き四つの心が調和してくるようになる

と心に鏡のようなものが出現して来る。その「自家製の鏡」に自分の四つの心の状態と自分のやるべきこととやり方が写し出されてくる。お掃除で心身を磨くということはこの心の鏡を削り磨き上げることである。

日々繰り返し四つの心を自分の夢や務めに向かって大きく開いてお掃除しながら育てていく、毎日毎日育てていく。しかしそういう心を持つても、それでもこの四つの心は日常的なストレスごみの中で乱れに乱れ汚れに汚れていく。目標や夢を持った四つの心はその夢実現のため「うまくやろう」として時にはエキサイトもし「ブレイクもする。そして弱りはてどん底にも落ちる時もある。」

獄の底なし沼に陥り自己を限りなく衰退させていく。そうして四つの心はやがて縮小しいじけ、ねじれ、不安になり夢目標も危うくしていく。ここに夢目標を実現していく現実的、基本的有効な実践的方法認識が不可欠になってくる。

お掃除をしてこのストレスゴミだらけの心身を「まっさらまっすみ」にする地に着いた方法を知っている人はこういう危機を乗り越えていく。不安や挫折を乗り越えていくお掃除をしている人は不安や恐れのごみストレスを四つの生命力からできるだけ早く取り除こうとするようになる。早めに片付けようとする。ストレスごみ発生の原因が「うまくやろうとする心」にあることを心の鏡に写し出す。そして問題の本質が成功するか失敗するかとか、勝つか負けるかではなく自分の四つの心がより強大になるか充実するかあることを悟る。こんなごみストレス不安に付きまとわれ親にもらった大切な生命力を衰退させるのは全く以て馬鹿々々しい、勘定に合わないという悟り、さっさと片付け、やがて落ち着き冷静になりまっさら真澄になつて四つの心と自己の務めを回復し又四つの心のバランスも回復させていく。

そうなれば、この四つの心と夢目標が心の鏡にはつきり見えてくるようになる。人生には山や谷や色々なことがあると言われるが、時には急な坂だけではなく「まさか」という予想もしない危険な坂も出て来ると言われる。

そういう時にはただ四分の一の小賢しい知性や理性だけでは問題解決はできない。以上述べてきたような本物の勇気・親和・愛・知性の四つの力とそれに裏付けられた夢目標とお掃除思想を持つていないと危ない。すぐにグラついてしまう。

それも本物の借り物ではない自分で削り上げた百パーセント純粹自力自製の四つの生命力でなければなるまい。人に何となくもらった幻想的なものや、まねたものに本物の四つの心はついてこない。だから日頃から四つの生命力を発動し貯めてまといいつて、そして四つの心に支えられた自分の人生を生き抜く夢・務めをしっかりと見つめ、いろいろ迷い、失敗、挫折、後退を繰り返しながらも、それでも自分の夢目標に向かって「今できることを確実に実践持続蓄積し目標に向かって一步一步近づいていく」日常的方法を自覚修得しなければならぬ。

掃除をして、心身の均衡を取り戻し、という日常的な工夫が大切。そういう地味な努力の日常的な継続蓄積こそが人を確実に大きくしていく。四つの心・生命力をしっかりと持ったたくましい人間になることを望みたい。

もう一度くり返す。四つの心を意識自覚する。そして、その四つの心をいつも汚さない、これは汚すと損をする。なぜ損をするかというと、それを汚すと汚れが付着し生命力機能を錆びつかせ弱体化させることになるからである。そういうところに「新生する力」

はのつてこない。それどころかほころびが生じる可能性も出て来るしそれが積もり積もれば病気になる恐れも出てくる。痛い思いをすることになる。両親からいただいた生命力を大切に扱うことである。自分で自分を弱くしてしまうことほど愚かなことはない。痛い思いをしたくなかったら自分の心と体はいつもまっさら真澄・無垢無心の気持ちできれいにしておいた方がいい。そうすると長持ちするから。自分の務めや夢を実現する「長い時間」が保証されるから。

本物の四つの生命力は自分固有の四つの真澄の心の中にその人の固有の務めを通して入って来るのである。

## 四つの心を大きくする

### 夢・目標・務め

本当に強い人は生きる理由、生きねばならぬ理由、生き続けねばならぬ理由を自分自身の深いところから自覚体得して持ち続けている。「自分の固有の生涯の務め」を持っている人は「百年を生きる」可能性に満ちている。具体的に現実に心身の隅々まで生きようとする強烈な理由・動機・意志が焼き付いている人である。生涯を貫く自己の務めミッションを自力で創造しよう。一過性のものや借り物では勢いが落ちる。あくまでも自力創造した持続する夢・務めが人を大きく強くするのである。

本学に学ぶ人は栄養士、保育者、リハビリ、介護の専門家養成型の大学に來ているから比較的目標がある程度定まっている人だと思いが世の中にはそうでない人たちもたくさんいる。無論本学の学生さんだって悩んでいる人もいよう。才能や資質環境に恵まれ早くから自分のゆく道が分かる人もいるし、なかなか自分の夢目標の見つからない人もいる。中には極めて閉ざされ限定されている人もいる。最初から目指す方向などには行けない人もいる。やりたいことをするために、まず

やりたくないことを目標に掲げなければならぬ人もいる。目標に向かう人は様々なのである。才能や資質環境に恵まれた人が幸せな人かどうかは一概には言えない。それらに恵まれない人はそれだけ自分固有の夢探しをするので選択幅が大きく自己の決断力を発動する機会にも恵まれているということになり自由意志が働く範囲が広いということにもなる。ここで言うことは、自分の四つの心・心の四本柱をしっかりと見つけてそれに適合した夢目標を立てるということである。その後は両者の力動的な組み合わせで人格は拡大していく。無論組み合わせ方で人格は軋み歪み縮小後退を余儀なくされるということも生じる。単純ではないのである。行く道は多種多様である。しかしひとたび夢が明確になつたらその夢に向かって四つの生命力を発動発展統合調和しある程度の禁欲精神を以て、その実現努力に集中し毎日一つ一つできるところから近づいていかなければならぬ。

大切なところは今自分が確実にできることを確実に積み上げていくことであり、換言するならば目標に向かう四つの生命力を貯めていくということである。夢に向かって発動使用しながらも貯めていくのである。この

日々繰り返される小さな貯蓄がやがて大きな力を生み出すのである。人はどんな目標をもってその達成に至ったかということだけでなく、目標に向かつてどの程度四つの生命力を貯めて来たかということの視点も大切なのである。「意志力の貯蓄」といってもいい。この貯蓄が利子を以て個体の中に実存し、夢を追う者の主体的力を担保するからである。夢に近づいためにはこの貯めた力が必要なのであり、それがないと夢を追う者が逆に夢に追われるようになる。夢追い過程は複雑に錯綜して一口には言い表せないが、基本的に、夢は追うもので、追われるものではないのである。

「荒魂・勇氣」の主体性が確認されなければならない。

### 四つの心を磨き光らせ長持ちさせ更に大きくするお掃除

四つの心を大きくする夢・務めは反面大きな不安やストレスや苦悩を生み出す。その目標に向かって人を成功させようと駆り立てるからである。夢目標は人を目標に向けてうまくやらせようと強力なストレスを生み出す。

うまくいっている時はいいが、失敗しうまくなってくるといたたまれないような不安が湧き出てくる。そんな苦しみに耐えてまで夢なんか持ちたくないというようなところまで追い込まれる人もいる。そういう人は生活環境だけでなく心もストレス不安のゴミだらけになる危険性がある。環境のゴミストレスは肉眼で見えるが体や心の中まではなかなか見えにくい。

不安苦悩とストレスごみの堆積の中でやがて人は両親祖父母御先祖から預かっている「一回きりの自己の人生肉体」領域を汚し続け衰退させていく。地に着いた考えの人で、心ある人はそういう中でも自力で整理整頓お片づけ作業、つまりお掃除に目覚めていく。環境ごみも見えない人が、体や心のゴミ汚れに気付くであろうか。

夢・務めに向かう人はそれを実現する我が心身を先ずしっかりと掃除し、まっさら真澄の認識器官で正しく夢務めの実態を見定めねばならない。そうでないとつまらぬ夢に惑わされ無駄な時間を費やすこととなる。お掃除をしっかりと身に着け、どんな苦難が押し寄せてきても、どんなに傷ついても、いつまでも打ちひしがれていないで、「親にもらったこの体、汚しちゃんならないこの心、お掃除すれ

ばまつさら真澄」と整理整頓し新鮮な生命力を蘇らせねばならぬ。お掃除で心身をまつさら真澄にしながら、「そうか、自分は目標に向かって『うまくやろう』として苦しんでいる。『うまく』なんかやろうと思わないで、自分が今できることを一つ一つ確実に積み上げていくことだ」と、思い直しそしてどんな苦難にも耐えて生き続けているこの心身・四つの心の発動発展拡大を心がけ、生きられる所迄生き抜いていくことである。

#### 四つの心を育てる言葉

今日一日、はたして自分は、教師として私学人として学生として友として親として、自分で納得できるような四つの心を育てるような言葉を自分に向かってそして自分に触れ合った人に語れたであろうかと自問自答してみることが大切である。「四つの心」全部でなくても「二つの心」だけでも自分は今日一日自分のためそして人のためにそういう言葉をかけてやることのできたであろうかと考える心が、着実に自己の四つの心を発動発展統合調和へと導いていくのである。

「四つの心」を育てる自分固有の言葉を持ち強い生命力を発動してください。

#### 「荒魂・勇氣」

自分及び他者を勇氣づけ奮い立たせる言葉

#### 「和魂・親和」

自分及び他者を受け入れ共感する言葉

#### 「幸魂・愛」

自分及び他者を育み慈しむ言葉  
感謝の言葉、恵みの言葉

#### 「奇魂・知性」

人が学び考えることの大切さを  
実感できる言葉

「四つの心」を育てる言葉を語り  
本当に強い人になってください。

#### 四つの心と反省心そして自己評価

尚、四つの心にはそれぞれの心の間に均衡反省作用そしてそれぞれの心の中にも自制的反省作用が含まれているが、私たちが両親祖父母祖先から非連続的に受け継いでいる四つの心をまとめていく人格にも四つの心全体を反省する働きが備わっていると考えられる。(本田親徳はこの点、「省、恥、悔、畏、覚の五情は靈魂中に含有す。乃ち神命の戒律なり」と記している。本田親徳全集38頁)

創設者の先生であった出口王仁三郎や更にその師(「先師」)であった本田親徳の記した書を読めば、難解ではあるがやはりそういう三つの反省作用があるように思える。そういう三つの自己を省み反省する作用があるから我々は目標に向かう無限の創造力を発揮し人格を成長させ地球上最強の生き物になれたのであろう。

こういう三つの反省作用がなければ我々の四つの心は本来の方向に成長しないで、勇氣は「争」いの心に、親和は憎しみや「悪」の心に、愛は自然の恵みに「逆」行し、知性は誤った独断・偏見・「狂」氣の方向に流されてしまう恐れがあるというわけである。

(佐藤卿彦「顯神本田靈学法典」130頁 十和田龍「出口王仁三郎の神の活哲学」158頁等参照)つまり四つの心はゆがんだ・ねじれた・いじけた方向にいつてしまうというのである。

四つの心・「勇氣・親和・愛・知性」を「争・悪・逆・狂」化させないためには、心の中に「恥・悔・畏・覚」の歯止めをかけておかねばならぬということである。そうすると四つの心の決定的本質的特徴心が発動するというのである。即ちいささか儒教的色彩はあるが「断・制・割・裁」である。(ここで分かりやすく「三つの反省作用」と表現しているが、言うまでもなくそれはそれぞれが一つの人格の中でつながっている作用である)

尚、氣をつけねばならぬことは、そのように極端にねじれはしないが、四つの心には少しばかり自己の目標が認められてくると「過度なる」ところが出てくることだ。「勇氣」は傲慢化しふてぶてしくなり、「親和」の心は馴れ馴れしくなり、「愛」の心は押しつけがましくなり相手に負担をかけるようになり、「知性」はさかしらな言動が目立ってくる。先人の教えを踏まえながら、ここでは過度なるものとして理解・反省しておく。

目標を持って人も人は「四つの心と夢目標」の「やりっ放し」だけでは本当に

強くはなれない。自分の四つの心と夢目標が自己本来の方向に向かっているか、四つの心はまとまっているか、自分の心はどの程度大きくなったのか、以上のような「三つの反省力」を發動して点検していかなければならぬ。こういう三つの反省作用と心身のお掃除が行き届く人は、単に自己の反省だけではなく、そこから自己の目指す夢目標への創意工夫を成し遂げる。「創意工夫を知った四つの心」はやがては自分の四つの心の起源まで見つけていくであろう。そういう努力の中で人間は大きくなっていくのだと思うのだが、如何であろうか。

#### 四つの心の発動発展過程の

#### 個性的多様性

人の人格の成長発達過程は多様である。四つの心も同様である。持って生まれた資質・才能・環境・努力等によつて四つの生命力の発動・発達・統合・調和のプロセスは多種多様である。「四つの心の発展過程という視点」で見れば、不均等に発動発達する人もいれば、ある一つの生命力が優れて発達する人もいる。均衡のとれた発達を

する人もいる。又、「発動発達時期という視点」に立てば、人生の若き時代に発動発達統合を遂げる人もいれば、中年の頃に発動する人もいるし、高齢期に満開期を迎える人もいる。四つの心と夢目標が織りなす花の季節は人それぞれなのである。早咲きの人も遅咲きの人も晩成の花の人もいるのである。焦ることも急ぐこともないのである。自分にふさわしいその時を待たばいいのである。

どのような発展過程をたどろうとも四つの心が発動発展統合調和され一つの「全き心」に結んで成長して行くことが大切である。四つの生命力をもてば必ず強く大きくなれる。様々な人生の試練や修行を経て時には極限的な状態迄乗り越えてきたというような人は、よほどの工夫創意を繰り返し四つの心を「一つの心・全き生命力」化してきた人である。そういう意味では「四つの心」は「四つの魂化」して大きくなっているといつてもいいであろう。真の四魂が一つになって全き生命力として人格の中に出現した時こそ我々は自分の本当の實在に触れることができるのではないか。自己の人格形成をしていく主体者は誰なのか、自分なのか、自分を創り出しているものなのか、その両方なのか、そう

いう疑問にもきつと向き合えるようになれると思う。

#### 建学の精神・四つの心と

#### 人格の感性、品性について

一見厳しい時期が、実は自分の人生にこれまでにない大きな生命力を与えてくれる時期でもあるという両面の認識力が重要である。「二時のマイナス評価」だけでは人生という時間の評価はできない。本学の教育理念の四つの生命力は様々な時期を通して発動発展していく。苦しかった時や危険な時が自分の生命力を大きくしている時だということもしつかり踏まえておかねばなるまい。「いい時」だけで人生を評価することはとても危険だと思ふ。人生は長いし人生そのものが非連続的連続性をもっているわけでもあるから、本学の建学の精神という四つの心・四つの生命力は自分にとって都合のいい時だけに発動するものではない。都合の悪い時にも発動成長し双方合わせて充実調和力を我々に与えてくれている。不遇な時から四つの心を発動調和する方法を学ぶ姿勢が大切である。

おそらく、人間の持っている豊かな感性、品格などという人格的力は、自分の四つの心が直面する様々な時代環境、現実の不安・挫折・限界・絶望にさらされながらも自己の目標に向かって発動発展均衡調和をやめないダイナミックな葛藤の中で養われていくものだと思う。最初から品性や感性の高い人も普通の人とは自分の「四つの心の充実・調和・全き」の中に身についてくるものではないかと思ふ。感性や品性は四つの心のどの分野にも入りながらも収まり切れず飛び出しているように見えるから、そう考えれば、自分の目標に向かって「いい時も悪い時も」着実に自力で四つの生命力を伸ばしていった人、あるいは、伸ばしていかうと持続的にある一定期間務めている人に知らず知らず身に付いていくものと思う。

自分の夢目標をしつかり持つて、毎日少しずつ、一つ一つ、一步一步、四つの心を発動しながらそれに近づいていくということがとても大切である。その毎日の持続実践過程に、自然にその人なりの人格の豊かな感性、品性が備わって来るものなのだと思う。

(勢いを盛り返してきたコロナ禍の中で 令和四年正月八日)

東筑紫学園 建学の精神 愛唱歌

作詞 室井廣一  
作曲 竹並正宏  
編曲 室井廣一  
令和三年 四～五月

序曲

(前奏)

<sup>まこと</sup>  
真実の心は 筑紫の心

勇気

進んでやれる 元気な心

親和

あらゆるものと 親しむ心

愛

<sup>いっく</sup> <sup>はぐく</sup>  
慈しみ育む 優しい心

知性

なぜかなあ どうするのかなと 考える心

四つの心は ひとつの心

(間奏)

一、筑紫の心は よく学び

整理整頓 お片付け

進んでできる ご挨拶

ありがとう ごめんなさいを言う心

(間奏)

二、筑紫の心は <sup>ひら</sup> 夢拓き

真澄の心を 学びつつ

<sup>すべ</sup>  
全てのものを 慈しみ

親しみて ひとつに結ぶ 和の心

(間奏)

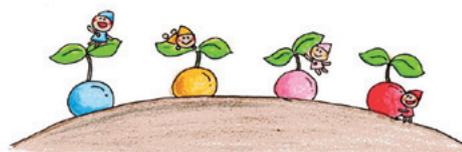
三、四つの心が 結び合い

己の務めに 目覚めつつ

<sup>とわ</sup> <sup>ちから</sup>  
永遠を生き抜く 我が生命力

ほとぼしり 世界の闇を てらしだす

(後奏)



# 新型コロナウイルス感染拡大が始まって



杉元 康志  
SUGIMOTO YASUSHI

食物栄養学部 学長補佐・学部長  
大学院・健康科学研究科長

2020年1月に新型コロナウイルス(COVID-19)の中国での発生が報告され、世界中で流行し、そして2年半あまりで感染者数は6億人を超え、死者数は650万人以上となっている。日本ではようやくこの通常の生活に戻る状況になりつつあるにも拘わらず、まだ感染は収まっておらず、不安は解消されていない。コロナウイルスはRNAウイルス特有の変異を繰り返して、アルファ株、ラムダ株そしてオミクロン株にその流行が移り変わり、開発されたワクチンも思った以上に流行を押しさえ込むまでには至らなかった。今後はウィズコロナで感染拡大に注視しながら如何に社会活動をコロナ前まで戻すかが問われている。

2020年4月に入学した学生も3年生となり、今年入学した学生も

コロナ世代と言われる。多くの制限された行動は大きく学生生活に影響を及ぼし、これまでほとんど経験しなかった生活を余儀なくされ、本来の学生としての喜びはかなり失ってしまった。マスク着用、3密の禁止、多人数での飲食の制限など日常生活に影響

が及び、教育現場は感染拡大1年目には対面授業からオンライン授業が中心になった。その後、ウイルス感染の実態が明らかになるにつれて対面授業が再開され、現在では一部オンライン授業はあるものの対面授業に戻った。

現在の3年生は入学からいきなりオンライン授業となり、大変混乱したと思われる。学生も教員もお互いに直接顔も合わせることが出来ず、会ってもマスク同士なので顔を認識できなかった。また、オンライン授業では学生の顔を見ることが出来ず、両者の距離感が縮まらなかった。そのような状況が続いたが、令和4年度になってオンライン授業は一部あるものの対面授業が主体となつてようやく学生との対話が通常のように可能になり、学生も明るくなつていくように感じる今日この頃である。

教育内容についてはコロナ感染拡大で大学の教育の基幹となる建学精神および教育理念の教授の機会は減つたが、学長講話やキャリアアゲインズなどによって学生はしっかりとその考えは育んでいると考えられる。通常の講義は感染防止のためクラス単位の授業が減少し、合併授業やオンラインでの授業が多くなり、授業内容の理解はやや低下している懸念は否めないが、これは教員の指導によりコロナの初期より改善している。オンライン授業の当初は資料の準備や配付にかなりの労力が注

がれたが、効率よく活用されたと思う。実習や実験は大変であった。特に食べ物を調理する実習では飲食による感染が危惧され、その対策に工夫がなされた。クラスを2つに分けての実習、黙食の徹底、アクリル板による隔壁、調理食品の持ち帰り、オンライン授業の活用など極めて現場は感染防止に努めた。実験実習のような体得授業はこのような工夫でもなかなか成果を上げるには難しかった。また、臨地実習(学外実習)は困難を極めた。実習の受け入れ先を得るのに相当な労力を要し、特に、病院や老人介護施設などの実習は直接コロナ感染に関わることから断られるケースが多発し、担当教員はその対応に追われ、多大な時間と負担を

要した。当初は感染防止のため実習前2週間は自宅待機を課せられ、その後は10日間、1週間そして現在は4日間に短縮されたが、まだ実習前は自宅待機となっている。本学部のような実践的教育を柱とする養成施設ではコロナ感染による制約は大きな影響をもたらした。

そうした経過をたどりながらも、現在はまだ本来の通常授業とは行かないまでも大学の教育的活気を取り戻しつつある。学生が本来の姿に戻ってきたという実感が湧いてきている。マスクはしているものの彼らの顔にはこれまでの学生とは変わりなく、活き活きとした若者らしい様相が伺えるのは嬉しいことである。しかしながら、彼らの学ぶという本質を保障しなくてはならない。コロナであろうがなろうが大学生としての素養を備えさせることは我々教員の使命である。教育レベルの維持・向上、学生生活への支援、国家試験へのサポート、就職支援などを全教員あげて質の保証に取り組むことが求められる。そのため何が出来たかを問う必要がある。来年は、大学は7年に1度の認証評価を受ける。本学の建学の精神および教育理念を基盤として学生と真摯に向かい合つてよりよい大学を作り出すことが必要である。

## 大学院への勧め

近年、日本の研究力が低下しており、国際競争力も大きく低下している。

2022年に発表されたデータによると研究者による論文の引用回数が上位1%に入る「トップ論文」では中国が1位、次いでアメリカで日本は過去最低の10位に落ちてしまった。また、引用回数が上位10%以上の論文もスペインや韓国に抜かれ12位になっている。論文総数は5位であるが、それだけ注目される論文が少なくなっていることを示すデータである。何故、このように日本の研究力が低下しているのか？大きな原因と考えられているのは研究者数の減少や研究費の停滞そして人材不足が上げられる。博士進学者も減少傾向が続き、研究の質の向上が抑えられている。OECDの2022年のデータであるが、日本の研究開発費はアメリカ、中国に次いで3位、大学の研究開発費はアメリカ、中国、ドイツに次いで4位であるが、研究者1人当たりでは韓国に次いで11位と極めて憂慮すべき状態である。ここ10年は自然科学分野での日本人のノーベル賞受賞者は10人と毎年のように受賞しているが、今後、このようには続かないと危惧されている。世界の大学ランキングを見ると日本では東京大学が35位、京都大学が61位と日本の大学は

年々順位を下げている。このように日本の国力の低下が教育研究にも波及している現状は大変憂慮される深刻な状況である。今後、さらに少子化の影響が心配される。日本社会の不透明さが研究者を目指す若い人の減少に繋がっており、益々の日本の研究を取り巻く環境は厳しくなると予想される。

国の政策による大学の経費削減は研究費の減額や教員数の減少に繋がっており、強いては国力の低下に繋がってくる。私立大学も今後同じような状況が予想される。特に、出生率の低下は大学進学者数に直接影響を与え、定員割れが現実問題となっており、研究費や教員数に影響し、大学の存続が危惧されている。

本学は修士課程の大学院健康科学研究科を有している。そうした中、大学院に進学する大学生は少ないのが現状である。2019年度に社会人入学制度を導入したときは7名、次の年は8名と入学者は定員4名を上回ったが、コロナ感染の拡大もあり、2021年度は2名、2022年度は1名をなっている。進学者が低迷しているのが現状である。その原因は食物栄養学部もリハビリテーション学部も国家試験を受けて有資格者となり、そのまま実務に就くのが通常になっている。彼らの仕事は経験を積んでスキルを磨くことが重要である。よって、なか

なか大学院に行つて研鑽を積むことにメリットを見いだせないのが原因であると考えられる。現場で修士の学位を有することがどのように評価されているのかも影響している。大学院に進学する学生は早くからその意志を持っており、将来、研究者や教育者になる希望を持っている学生が多い。両学部とも4年次は国家試験の準備もあり、卒業研究もあまり没頭できないため、研究に対して十分向き合うことが出来ないことも原因の1つである。入学後から大学院への進学を勧めるガイダンスは行っているが、なかなか浸透しないのが現実である。管理栄養士課程においても理学療法士や作業療法士においても大学院教員として教壇に立つならば例外はあるが、修士号以上の学位が必要であり、博士の学位が重視されている。大学において優秀な教員の確保は大変重要である。本学本研究所を修了した修了生にこうした教員になって活躍することを期待している。恐らく、大学院の進学率が低下すると専門職養成機関での教員不足が懸念される。管理栄養士、理学療法士、作業療法士の専門分野での教員不足も例外ではない。大学院に進学して将来、大学の教員に就くことを選択肢の1つとしてチャンスは少ないかも知れないが、希望を持って欲しい。そのためには自分で何かを発見するあるいは証明すると言った研

究に対する興味と意欲が何より必要とされる。研究には執念と忍耐が要求される。そうした志を持って学部生活を送り、大学院進学に繋げることを期待している。前述したように教育研究力は低下の傾向にある。そのような状況の中で本学から未来を担う人材が育っていくことを切に望んでいる。大学院進学には色々不安があると思われるが、今後、給付型の奨学金や出払型奨学金、奨学金免除制度などを活用すれば少しの不安は解消すると思われる。研究の面白さを味わってみてはどうだろう。意欲ある教員が増えれば、研究力の回復に繋がると期待できる。

### 教育課程 [健康栄養学専攻]

開講単位数 **72** 単位  
必修単位数 **12** 単位  
選択単位数 **60** 単位

選択最低取得単位数 **18** 単位

#### 修了要件

1. 最低取得単位数は30単位とする
2. 修士論文の審査に合格すること

# 社会のニーズをキャッチし、適切に対応できる管理栄養士を目指して



安倍 ちか  
ABE CHIKA  
食物栄養学科長

「人生100年時代」を迎えようとしています。幸せな人生を過ごすためには、元気で生き生きと自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすことが求められています。平均寿命と健康寿命の差が10年ほどあり、この差をどう縮めていくかが重要とされています。

このような中、本学科では「食」を通して人々の健康を支え、生活の質(QOL)や生活・人生の快適さ(AOL)の向上を目指し、福祉に貢献できる管理栄養士の育成に力を注いでおります。栄養問題の背景には、精神的な要因も複雑に内在する場合が多く、対象者の心理的側面からも温かく受け止め、個々に即した適切な支援や指導が不可欠となります。

す。そこで、本学では、専門性の高い知識やスキルを獲得するための学びと共に、建学の精神である「勇気・親和・愛・知性」の4つの心の調和を図り、人格の面からもより豊かな人間性を育むことを大切にしています。そして今後も管理栄養士国家試験の高い合格率を維持し、人々の健康づくりのエキスパートとして活躍できる人材の輩出に努めて参りたいと考えております。

## 第36回 管理栄養士国家試験

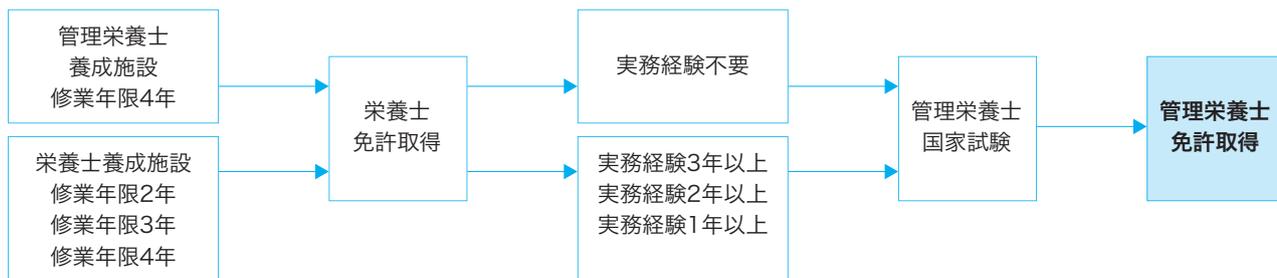
本学合格率

91.8%

90名合格/98名受験  
全国合格率平均 65.1%

栄養教諭一種免許状取得  
令和3年度卒 31名

本学では規定の科目を履修すれば、卒業と同時に管理栄養士国家試験の受験資格が取得できます。



### ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)について

各大学の建学の精神を基盤とした学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものです。

### 食物栄養学科・ディプロマ・ポリシー

建学の精神「勇気・親和・愛・知性」を基に、食を通して福祉を実現するという使命感を有する管理栄養士を養成する。

1. 公衆衛生、公衆栄養の知識に基づき、食を通して地域住民の健康生活と福祉の向上に貢献できる能力を有している
2. 傷病者を対象とする栄養管理及び指導のための高度な専門知識を有している
3. 豊かな食生活を実現するために必要な食文化、調理科学的知識、調理技能を有している
4. 社会からの信頼に応えるため、専門的知識、技能及び教養を継続的に修得する向上心を有している

※カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについても、学生便覧やHPで確認できます。

# 【食でつながるフェスタ in 北九州】

## 開催報告

主催：子ども食堂ネットワーク北九州、一般社団法人全国食支援活動協力会  
 共催：北九州市  
 後援：社会福祉法人北九州市社会福祉協議会、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

「食でつながるフェスタin北九州」が令和4年3月18日・19日に開催されました。19日(土)には本学を会場として『子ども食堂』の生みの親である近藤順子氏の講演や、『子ども食堂ネットワーク北九州学生会』による活動報告(本学学生も発表を行いました)、またイベントとして「トマトカレー試食会」を本学食物栄養学部生と響灘菜園株式会社様とのコラボ企画として実施しました。

ちなみに、本学が子ども食堂のイベントなどに参加するようになったのは、2019年に開催された『食でつながるフェスタin福岡&北九州子ども食堂学生サミット』において、食物栄養学部 大村美智子教授が実行委員長を務めたことに始まり、「学生サミット」では近隣の大学・専門学校と一緒に本学の学生代表が議論に参加しました。



その後、大村教授が子ども食堂ネットワーク北九州代表に就任し、毎年開催されるイベントで、本学の「子ども食堂同好会」「スマートダイエットクラブ」の学生が中心となり、準備から運営、片付けまで、大活躍しています。

### (食品ロスを考慮したトマトカレー)

響灘菜園株式会社様より、形が悪いなどの理由で廃棄される予定のトマトを頂き、スマートダイエットクラブの学生がカレーを考案しました。とても美味しいトマトなのに、年間100tも廃棄されるそうで、そのトマトを利用したレトルトカレーを開発し、子ども食堂で提供できないかというアイデアです。今回のイベントでお披露目できると



ということで、100食の大量調理を行いました。北九州市は特にSDGsに力を入れており、学生自身もSDGsについて考える、良い機会にもなりました。

北九州市民太陽光発電所市民還元事業  
 北九州市制50周年記念事業として開催される「市民太陽光発電所」  
 市民還元の一環として、「子ども食堂」を支援する事業として開催します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

# 食でつながるフェスタ in 北九州

令和4年 3月18日(金) 13:00-15:00  
 3月19日(土) 10:00-14:00

参加費無料(寄付制)  
 託児コーナーあります!  
 対象 小学生 保育料15名

18(金) 13:00-15:00 定員 40名  
 子ども食堂に関心のある企業・団体

19(土) 10:00-14:00 定員 80名  
 子ども食堂関係者および関心のある市民

【会場】  
 ミクニワールドスタジアム記者会見室

【会場】  
 九州栄養福祉大学

【報告会】  
 北九州市内の子ども食堂の取組みについて

【講演会】  
 全国食支援活動協力会  
 ミールズ・オン・ホイールズロジックシステム (食料流通システム) 説明会

【事務報告】  
 企業・団体による子ども食堂協力、活動事例報告  
 ◆株式会社 フチャマホールディングス  
 ◆アパホテルディングス株式会社  
 ◆株式会社 西さん  
 ◆一般財団法人 北九州市母子福祉福祉会  
 ◆社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会

【報告会】  
 近藤 順子氏 (一般社団法人ともしび at さんさん)

【報告会】  
 1) 子ども食堂ネットワーク北九州学生会 / 学生会活動報告  
 2) 子ども食堂ネットワーク北九州活動報告 / 体験型等活用事業中間報告

【パネルディスカッション】  
 テーマ：今後の子ども食堂の在り方

【試食会】九州栄養福祉大学・響灘菜園(株)のコラボ企画 トマトカレー試食会!

【主催】食でつながるフェスタ in 北九州実行委員会  
 子ども食堂ネットワーク北九州  
 一般社団法人 全国食支援活動協力会  
 【共催】北九州市  
 【後援】九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学  
 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会

◆助成：北九州市民太陽光発電所市民還元事業  
 体験型等活用事業



### 子ども食堂とは

地域の大人が子どもに無料または低額で食事を提供する取り組み。2012年に東京都大田区で始まったとされ、その後、全国各地で運営に取り組むようになりました。

現在では、貧困家庭の子どもへの支援に限らず、地域の交流の場としての役割を担っていることも多く、地域活動の一環として多くの地域の方々が参画しながら実施しています。

北九州市の子ども食堂では、孤食の防止と地域の子どもの大人がコミュニケーションを図りながら安心して過ごすことのできる子どもの居場所として実施しています。

(北九州市ホームページより)

九州栄養福祉大学 食物栄養学部

九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部

東筑紫短期大学

## 実務家教員制度に思う



高橋 精一郎

TAKAHASHI SEIICHIRO

小倉南区キャンパス 学長補佐

2020年に高等教育の修学支援新制度や専門職大学との関連で大学等に「実務家教員」による授業の組入れが義務付けられた。文科省は実務家教員を「専攻分野における概ね5年以上の実務の経験を有し、かつ高度の実務の能力を有する者」と定義づけており、高等教育と実践を結びつける教育を目指したものである。リハビリテーション学部では全員が実務経験5年以上の「実務家教員」であり、かつ研究実績を備えており、新規教員には「教育学」の修得という条件も加わっている。文科省では教育と実践の結びつきが希薄な分野に対する教員制度であろうが、臨床に直結した教育を行っている我々にとっては「いまさら」感がある。文科省の2018年データでは、採用直前の勤務先が民間企業であったものが当該年度の採用者の10%、官公庁が4.3%、自営業1%であ

る。さらに企業で勤務しながら授業を行うことも可能なため、実際はもう少し多い割合であろう。学生にとっては理論だけでなく、実社会での経験談も聞けることで両者の結び付けが可能になるメリットがあるが、一方で、高等教育、特に大学の教員として定義の条件だけで十分なのか？企業と教育機関との業務の違いに対応できるのか？論文も執筆もなく研究実績のない人が大

学教員でいいのか？など、批判的な意見もみられる。理学療法士・作業療法士が臨床から大学に移ろうとした場合には実務経験・研究実績に加えて大学あるいは大学院で教育学4単位を修めるか厚労省が指定した教員講習会を修了しなければならぬ。実務経験5年以上だけの条件では不十分と思うが、教員条件にこれだけ差異があるのはいかがなものか。理学療法士や作業療法士が臨床で患者さんを担当しながら大学では授業や研究、学生指導を行う光景は想像し難い。病院の職員なのか教員なのか責任形態も明確でないような中途半端なシステムでは患者さんにも学生にも迷惑をかけてしまう。現教員に臨床業務を付加するシステムの方が実務家教員としての有益性が高いと思うのだが。

## 建学の精神に基づいた 自律心と自主性を備えてほしい



石橋 敏郎

ISHIBASHI TOSHIRO

リハビリテーション学部長

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な制約を受ける生活が続く中、九州栄養福祉大学リハビリテーション部の学生も窮屈な大学生活を送っています。コロナ禍ではありますが、『建学の精神』に基づいた医療人としての自覚と生涯にわたって通用する土台づくりを目指して、日々努力してほしいと願っております。

新しいです。具体的には、大学生活の中で体験する他者との関わりの中で、確かな人間関係を構築するために取るべく適切な言動を試行錯誤の中で身に付けてほしいと思います。そのためには、行事などの活動に自ら積極的に参加して、好き嫌いに関係なく人と接する機会を設ける必要があります。人間は挫折や失敗の中から多くのことを学び、その経験を積むことで初めて成長しますので、最初から失敗を恐れては何も得られません。

もう一つ大切なことは何事に対しても創意工夫する「自主性」の気持ちです。少しでも高みを目指して日々精進する気持ちが無いと成長することはできません。今の自分に満足している人に成長は期待できませんし、医療人は日々勉強する努力が対象者に活かされることとなります。大学生には若いからこそ許される失敗という特権があります。私も数えきれない失敗をしてきましたが、その度に叱咤激励して下さった恩師や先輩に今でも心から感謝しております。

最後になりますが、大学時代に経験することが将来必ず役に立つことを信じて、今を精一杯生きて悔いのない大学生活にしてほしいと切に願っております。



廣 滋 恵 一  
HIROSHIGE KEIICHI  
理学療法学科長

令和3年度より学科長を拝命しました廣滋です。理学療法学科の特徴と使命を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本学科の特徴は、九州リハビリテーション大学校や九州労災病院、産業医科大学病院等で、長年にわたり理学療法士の臨床教育・研究に携わってこられた教員が多く、リハビリテーションの歴史と九州リハビリテーション大学校の伝統を重んじていることです。そして、理学療法士に必要な資質・知識・技術を教育すること、理学療法士人生のスタートラインに立つための国家試験に合格させること、医療・福祉、教育、研究領域で中心となって活躍する理学療法士を輩出することが我々の使命と考えて

います。  
そのため、建学の精神「勇親愛知」に包含される、①自らを奮い立たせる心の強さ、②互いを理解し助け合える行動力、③医療職に求められる奉仕の精神、④課題を解決するための知恵と探究心を育てて参ります。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 第57回 理学療法士国家試験

本学合格率

82.9%

68名合格/82名受験  
全国合格率平均 79.6%

- ・園芸療法士取得 ..... 令和3年度卒 20名
- ・障がい者スポーツ指導員(初級) ... 令和3年度卒 18名

### 理学療法(Physical Therapy:PT)とは

理学療法 (Physical Therapy:PT) とは、交通事故やスポーツ障害、生活習慣病や高齢化、小児疾患など身体が不自由になった方々に対し、心身の両面から機能回復・維持をはかる医療です。身体機能・心理面・リスクなど、個々の状態を科学的にとらえ、適切な治療方法や目的を設定することで治療を進めます。人の動きやその機能を医学的に分析・考察し、運動を治療や練習の手段として活用する高度な医療技術のひとつです。

### 国家試験合格は大きな目標の通過点

理学療法士として働くためには国家資格の取得が不可欠です。本学では国家試験合格はもとより、高度な知識技能と科学者としての目を持った専門職として障害に苦しむ方々を支えられる人材になることを大きな目標としています。

その意味で理学療法士は、生涯が勉強の連続。まずは、「人間の体の神秘を楽しく学ぼう!」これは本学理学療法学科の言葉です。

### 本物が本物の場所で本物を育てるためのカリキュラム

実際のカリキュラムでは、入学直後の早朝から実習をふんだんに取り入れ、臨床経験を多く積めるように配慮しています。また、学外から各分野のスペシャリストを講師として招き、医療全般の実務に関わる内容を講義します。

「本物が本物を育てる」教育環境・リハビリ発祥の地で、医療人としての自覚を促すカリキュラムが展開されます。また、社会人としての基本的マナーなど、医療人としての基本的な教育も、教室の内外を問わず実践します。人間性豊かな専門職を育てることこそ、本学の大きな目標です。

### ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)について

各大学の建学の精神を基盤とした学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものです。

#### 理学療法学科・ディプロマ・ポリシー

1. 建学の精神に基づく高い倫理観と豊かな人間性(勇気・親和・愛・知性)を身につけている
2. 理学療法に必要な医学的基礎知識を修得し、専門的知識と技術を有している
3. 保健・医療・福祉の領域において、理学療法の科学性と専門的創造性を発揮して人々の健康生活に貢献する力を身につけている
4. 自らの専門領域における課題や問題解決のために、調査・研究を通して、理学療法の発展に努める意欲を有している

※カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについても、学生便覧やHPで確認できます。

深く人と関われる作業療法士へ



渚 雅子  
FUCHI MASAKO  
作業療法学科長

この春39名が卒業しました。国家試験は1名が合格できず少し残念な結果となりましたが、全国の水準を大きく上回っています。また、全員が就職できました。4月には11期生22名が入学しましたが、定員40名に対して充足できず作業療法学科の大きな課題となっています。リハビリテーションという言葉は広く浸透し、今では知らない人はいないでしょうが、作業療法士という職種の知名度はまだまだです。しかし現在、作業療法士の役割は大きく、世の中から切望されています。機械化・AIに負けない作業療法士は、心身共に人と深く関わり、様々な人生のステージでの生活を支援します。

そこで、4年間の緻密に構成されたカリキュラムをしっかり学び、作業療法士の背景を構築するとともに、大学内外問わず、ボランティア活動や地

域貢献活動等、たくさんの方の経験を積んでほしいと思います。作業療法士の対象は障害を持つ方々のみではありません。子どもたち、高齢者の方々、地域で暮らす様々な方々です。多くの人と関わり、多くの経験をし、人間力を大いに磨き、そして、大学の建学の精神「勇気・新和・愛・知性」の四つの心を育てましょう。わたしたち教員は皆さんを最大限にバックアップしますので、4年間の大学生活を楽しんでください。

第57回 作業療法士国家試験

本学合格率

97.4%

38名合格/39名受験  
全国合格率平均 80.5%

- 園芸療法士取得 ..... 令和3年度卒 20名
- 障がい者スポーツ指導員(初級) ... 令和3年度卒 28名

作業療法(Occupational Therapy:OT)とは

作業療法(Occupational Therapy:OT)とは、身体または精神に障害を持つ、またはその恐れがある方々に対し、諸機能の回復、維持および開発に繋がる作業活動を治療手段とした医療技術です。十分な医療管理のもと、資格を持った作業療法士が評価と治療計画をもとに行います。また、住環境や家族の指導、自助具開発なども作業療法士の仕事です。

コミュニケーションの力を培う

効果的な治療を実現するためには、生涯に苦しみ方はもちろん、ほかのスタッフたちとのコミュニケーションが重要です。本科のカリキュラムではゼミナール形式のグループワークをふんだんに取り入れることで、専門知識を深めるとともにコミュニケーション能力を身につける機会を設けています。個性を認め大切にすることがリハビリテーションの基本です。相手の意見を聞き、自分の意見を伝える力を培います。

真の医療人を目指す道は平坦ではない

入学早期から実習を通して医療の現場にふれるほか、各界の講師を招き、幅広い内容の授業を行うなど、医療人としての確かな知識、技能、自覚を持つための授業を幅広く展開しています。教室は、生涯を通じて優れた医療人であるための基礎を徹底的に身につける場です。本学を卒業すれば、みなさんは学生ではなく一人の医療人。私たち教師にとっても同じ医療に携わる仲間になります。そんな想いで指導しますから、中途半端は決して許されません。医療人として真に優れた作業療法士を目指してください。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)について

各大学の建学の精神を基盤とした学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものです。

作業療法学科・ディプロマ・ポリシー

1. 建学の精神に基づく高い倫理観と豊かな人間性(勇気・親和・愛・知性)を身につけている
2. 作業療法に必要な基礎医学、リハビリテーション医学および専門分野の基本的知識(知性)を有している
3. 対象者の生活を地域との関係とQOL(生活の質)の観点から科学的に考えることができる
4. 他者と協働して作業療法を実践できる力(勇気・親和)を持っている

※カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについても、学生便覧やHPで確認できます。

## — 令和4年度 北九州市多様な進路選択支援プログラム —

（ 本学リハビリテーション学部が申請したプログラムが採択されました！ ）

事業名： **地域の健康を守る医療専門職  
(作業療法士・理学療法士・管理栄養士)の役割**  
～リハビリテーション発祥地から～



### 【北九州市多様な進路選択支援プログラム】

「女性活躍」をキーワードに、小中学生ごろの早い段階から性別にかかわらず様々な業種や分野で活躍できることを知ってもらう機会として、市内の教育機関や企業等が連携して職業体験などを行うプログラムです。本学からは、すでに女性が活躍している分野ではありますが、これから（現在）の高齢化社会において地域の健康を守っていく医療職（理学療法士、作業療法士、管理栄養士）の紹介を医療法人共和会と協力して行いました。

### ●メディカルフェスタin九栄 開催報告

10月16日（日）に、九州栄養福祉大学小倉南区キャンパスにて「メディカルフェスタin九栄」を開催いたしました。本学の学生スタッフ46名に加え、医療法人共和会の協力も得て、臨場現場で勤務する理学療法士、作業療法士の方々にもご参加いただきました。

体験イベントは、医療法人共和会から「高齢者疑似体験」、食物栄養学部から「味噌玉づくり」、リハビリテーション学部から「トレーナー体験」や「フラワーアレンジメント」、「パラスポーツ体験」など様々な企画を準備し参加者に体験していただきました。参加者はスタッフとコミュニケーションを

とりながら管理栄養士、理学療法士、作業療法士の職業についての知識を深めることができました。

講演会は第1部「セラピストとは？」（作業療学科2年 竹内、角、理学療学科2年 長野）、第2部「女性が研究者として、管理職として働くということ」の2つを開催しました。第2部の講演会は教員2名、学生4名、小倉リハスタッフ2名の座談会を行い、それぞれの立場からこれまでの経験やこれから先に女性として不安に感じていること等の意見交換を行いました。本学の女子学生も多数参加しており、教員の女性セラピストや管理職としての活躍を聞き、これからの更なる動機付けに繋がったようです。

本イベントは、準備の段階から学生スタッフが参加し、学生が主体的に企画、運営し、教職員と協力して作り上げることができました。

全体の来場者数は60名弱で、当初の予定よりも少ない来場者数とはなりましたが、普段の学生生活では見ることのできない一面や才能、イベントを企画、運営していく中で成長していく姿を見ることができました。

今後も、このようなイベントを通して、より多くの方々に管理栄養士、理学療法士、作業療法士の魅力について知っていただく機会を増やしていきたいと思っております。

# 食物栄養学部

就職指導課長 松成 翔

本年度も希望するすべての卒業生が就職という進路を勝ち取ることができました。例年同様に医療機関や福祉施設、委託給食事業者などの分野を筆頭に、専門性に特化した職業に就く割合が高く、難関とされる公務員試験にも5名の合格者を輩出することができました。また、本年度の管理栄養士国家試験においても91.8%と高水準の合格率を堅持いたしました。これらは、卒業生各自が在学中に学業と就職活動の両立に向けて真剣に取り組んだ何よりの証明であると認識しています。併せてゼミ担当やクラス担任の先生方と就職指導課との教職連携が機能した結果であると考えています。本学の教職員は、学生一人ひとりと将来についての悩みや相談に真摯に向き合っています。また、就職指導課では多様化する学生からの要望に対応すべく、年間を通してオリエンテーションや適性検査、キャリアガイダンスなど就職支援に係る様々なイベントの企画・運営に従事するほか、ICTを利活用し情報発信の最適化にも取り組んでいます。加えて、個別の学生相談にも柔軟に対応し、本人の意思や個性の把握にも努め、希望する目標へ到達できるよう課員一丸で支援する体制を整えています。

本学の建学の精神、「筑紫の心」にある勇氣・親和・愛・知性を涵養する人格教育を経験した本年度の卒業生諸君が、複雑化する現代社会において、専門性を活かし地域社会に必要とされる人材となってくれることを願っています。

## 食物栄養学科

### 公務員

えびの市(※管理栄養士)、薩摩川内市(※管理栄養士)、川崎町(※管理栄養士)、福岡県公立学校教員(※栄養教諭)、鹿児島県公立学校教員(※栄養教諭)、防衛省航空自衛隊(※自衛官)

### 専門職

(社医)北九州病院、(社医)製鉄記念八幡病院、(公財)健和会、(社福)恩賜財団済生会支部 福岡県済生会 八幡総合病院、(医)松涛会 安岡病院、(医)愛信会 小倉到津病院、(社医)共愛会、(医)池友会 福岡新水巻病院、(国大)鳥根大学医学部附属病院、(医)将和会 うりゅう歯科クリニック、(医)みちおかレディースクリニック、(医)安倍病院、(医)坂本クリニック耳鼻咽喉科、(医)昌和会 見立病院、(医)仁保病院、(医)博愛会 額田病院、(医)成仁、(医)青藍会、日本赤十字社 大分赤十字病院、(一財)福岡県社会保険医療協会 社会保険 直方病院、(一社)日本海員救済会 門司救済会病院、(一社)福岡県社会保険医療協会 社会保険 仲原病院、(医)茜会 よしみず病院、(独)くららて病院、(独)労働者健康安全機構 熊本労災病院、日本赤十字社 小野田赤十字病院、(社福)恩賜財団済生会 福岡済生会福岡総合病院、(医)豊栄会、日清医療食品(株)福岡支店、エムサービスジャパン(株)、シダックス(株)、(株)LEOC、栄食メディックス(株)、富士産業(株)九州事業部、名阪食品(株)、(医)平成会 介護老人保健施設サンライズ・ビュー、(株)ケアリング、(社福)菊水会 特別看護老人ホーム きくがわ苑、(社福)敬愛会 介護老人福祉施設 あじさい、(社福)正勇会、(社福)福音会 ふれあいの里とぼた、(社福)薫会 北九州シティホーム、(社福)紫雲会 障害者支援施設 本城苑、(社福)聖会 コスモス保育園グループ、(社福)千里会 特別看護老人ホーム ひだまりテラス、(社福)翔風会 びわやまの里、(株)タカサキ、(株)ドラッグストアモリ、(株)グリーン、(株)のぼる、(株)錦、(株)平戸屋、宇美町、山口県教育庁 義務教育課、鹿児島県教育委員会、福岡県 教育庁 京築教育事務所、福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、(学)岩尾昭和学園 昭和学園高等学校、(学)東筑紫学園 九州栄養福祉大学

### 一般職

(学)東筑紫学園 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学、ひうら歯科クリニック、(株)樹、(株)サンリブ、洋菓子のシュレック、in・to coffee stand、(株)Free living Belle Beaute 小倉店、(株)喰道楽、(株)アメイズ/AZ ホテル、(株)やざや、(株)玉置、(株)岡部マイカ工業所

※略称表記について

(医)=医療法人、(社医)=社会医療法人、(公財)=公益財団法人、(社福)=社会福祉法人、(一社)=一般社団法人、(独)=独立行政法人、(一財)=一般財団法人、(株)=株式会社、(国大)=国立大学法人、(学)=学校法人

専門職 87%



【令和4年3月卒業生実績】



## リハビリテーション学部

小倉南区キャンパス学生部長

瀧 雅子

令和3年度の就職状況は、理学療法学科93.8%、作業療法学科100%でした。例年、全国各地より多数の求人をお願いしておりますが、多くのニーズに十分こたえられていないのが現状です。コロナ禍以前は、関東や関西圏への就職も年々増加傾向でしたが、近年はコロナ禍による活動制限や、地元志向の強まりもあり、県内や近県エリアへの就職が多い傾向にあります。

学内支援として、例年10回〜11回の対策講座を開催しており、令和2年、3年度はオンラインでの対策講座も織り交ぜながら感染状況に応じた支援を行いました。先の見えないコロナ禍においても、4つの心を発動させ、国家試験や就職活動に臨み、高い就職実績を残した7期生、8期生たちに感謝とともに敬意を表します。

令和4年度も就職対策講座をはじめ、就職担当教職員による個別支援を行っており、学内就職説明会では対面とオンライン2日間開催し、過去最大の87施設の参加がありました。

### 理学療法学科



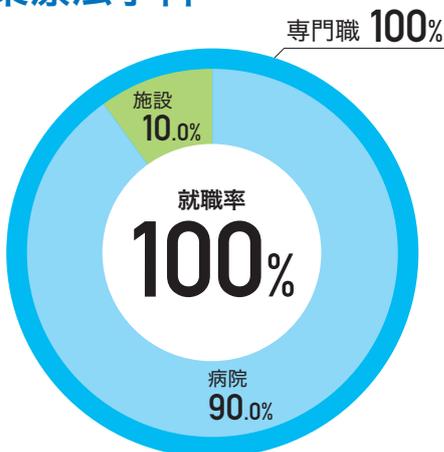
【令和4年3月卒業生実績】

### 公務員 国東市民病院、北九州市職員

#### 専門職

IMS 春日部中央総合病院、鎮誠会、成田富里徳洲会病院、青山メディカルグループ、桂名会大須病院、福山リハビリテーション病院、安岡病院、昭和病院、山口リハビリテーション病院、西広島リハビリテーション病院、徳山リハビリテーション病院、広島中央リハビリテーション病院、JCHO 徳山中央病院、小倉リハビリテーション病院、東和病院、九州鉄道記念病院、貝塚病院、孝徳会、しょうわ会、福岡輝栄会病院、大原病院、ひなた家、北九州八幡東病院、北九州安部山公園病院、北九州古賀病院、戸畑リハビリテーション病院、長尾病院、小倉さふね病院、慈恵曽根病院、田中整形外科医院、南川整形外科病院、田川病院、舌間整形外科、久留米リハビリテーション病院、清家渉クリニック、福岡リハビリテーション病院、しもそね整形外科骨粗しょう症クリニック、産業医科大学病院、西野病院、宗像水光会総合病院、芦屋中央病院、福岡みらい病院、北九州宗像中央病院、春桜会リハビリテーションクリニック、大手町リハビリテーション病院、東筑病院、飯塚病院、白十字病院、誠愛リハビリテーション病院、霧ヶ丘つた病院、桜十字福岡病院、北九州総合病院、芳野病院、JCHO 九州病院、済生会八幡総合病院、こぐま学園、福岡青洲会病院、福岡病院、北九州市立門司病院、門司松ヶ江病院、北九州市立総合療育センター、友愛医療センター、釘宮整形外科リハビリクリニック、へつぎ病院、光風台病院、延岡共立病院、JCHO 南海医療センター、長崎大学病院、大分リハビリテーション病院、大分中村病院、佐世保中央病院、黒木記念病院、孝徳会、自立生活センター・エコー、STAND UP！、熊本託麻台病院、Anytime fitness、青戸しょうぶ、せたがや岡田整形外科

### 作業療法学科



【令和4年3月卒業生実績】

### 進学 広島大学大学院

#### 支援スケジュール(食物栄養学部・リハビリテーション学部)

4月	●職業適性検査/1年 ●就職オリエンテーション/3年(SPI・GET検査)/3・4年(就職活動の進め方、自己分析方法、履歴書の書き方など)
5月	●学内合同企業説明会(第1回)/小倉北区キャンパス・全学年参加可能(医療機関・施設・企業の採用担当者などによる就職先情報の収集など) ●就職対策特別講座/2・3・4年(外部講師などによる筆記・SPI(適性検査)・面接の対策講座) ●マナー講座/4年(外部講師によるマナーの講座)
7月	●マナー講座/3年(外部講師によるマナーの講座)
9月	●学内合同企業説明会(第2回)/小倉北区キャンパス・全学年参加可能 ●学内就職説明会/小倉南区キャンパス・4年(医療機関・施設・企業の採用担当者などによる就職先情報の収集など)
10月	●公務員試験対策講座/3年、10〜3月(外部講師による公務員受験指導などの対策講座)※例:オンライン視聴による
1月	●就職ガイダンス/3年(就職活動を終えた4年生から就職活動の心構えや進め方についてのアドバイス・メッセージなど)

求められる保育者



寺本 普見子  
TERAMOTO FUMIKO  
保育学科長

今の社会では保育者の需要が高まっています。現状、幼稚園、保育所、認定こども園、施設は五月に入っても保育者を募集しています。少子化のため短大に入学する学生も限られています。しかし、幼児教育に保育者は必要です。

本校保育学科は六十八年の屈指の歴史と伝統のある短期大学です。創立者の建学の精神を受け継ぎ、教育目標に、豊かな人間性と確かな専門性を兼ね備え、社会に貢献できる実践力のある保育者を養成すると掲げています。私も本校保育学科の卒業生です。幼稚園に勤めて数十年、その後、歴史ある本校に勤めること、とても光栄に思い、毎日教鞭をとっています。

す。先輩が築かれた数々の教えを後輩に伝える使命の重さを感じています。

学生は、保育者になるための具体的な講義を大学内だけではなく、キャンパス内の認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園内の講義室でも受講しています。園庭で遊んでいる子どもの声を身近に聴きながら勉学に励んでいるのです。

いつも子どもの安全と利益を考える保育者でなければいけません。二年後の四月には先生、保育のプロとして活躍していくことになります。本校では幼稚園教諭二種免許状、保育士資格をはじめその他四種類の資格習得が可能です。卒業してすぐに活躍できる保育者になるために私たち教職員は入学した学生を全力で応援していきます。

憧れの「幼稚園の先生」や「保育士」に…  
夢は社会に必要とされるあたたかな保育者

本学科はこれからのニーズに合った社会に必要とされる保育者を養成する学科です。その夢を叶えるために、学是「筑紫の心」を基本にしながらいくつかの特色ある方法を構築しています。その一つとして、キャンパス内にある附属幼稚園との連携を深めて、1年次から観察実習や附属幼稚園での「環境」等の授業を実施しています。また、保育者としての学生の資質向上や専門性を深めるために、インターンシップ制を取り入れて、学生が自主的に地域の保育現場に出かける取り組みを行っています。さらに、実習前の学生の不安を少しでも解消するために、教材研究や指導案の作成など、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導を行います。

幼稚園や保育所（園）、施設実習を体験した学生は、「無邪気な笑顔がかわいい」「実習を通して学ぶことが多かった」「早く保育者になりたい!!」など、保育者としてのやりがいや更なる意欲を高めています。

専攻科（1年間）で学び介護福祉士も取得

本学には、保育士資格に重ねて、1年間で介護福祉士（国家資格）取得を目指す養成課程「専攻科（介護福祉専攻）」のコースが設置されています。保育学科と専攻科の3年間を通して養われる広い視野と対人援助の知識・技術・職業意識は、様々な課題が山積する現在の少子高齢社会において求められる専門性です。保育学科の学びを根幹に、人の尊厳を支える倫理観や医療的ケア・介護技術の実践力は地域社会から高い評価を得ており、卒業生は、保育・障害児者支援・高齢者ケアの広い分野で活躍しています。両分野の強みを活かすW資格は多方面で活かされ、将来、転職やキャリアパスにも有利となることでしょう。

専攻科 ▶ P24

目標とする資格

- ・幼稚園教諭二種免許状
- ・保育士
- ・レクリエーション・インストラクター
- ・認定ベビーシッター
- ・こども音楽療育士
- ・社会福祉主事任用資格

将来の職場

免許・資格を活かして、幼稚園・保育所（園）の保育者になることや乳児院の保育士や認定ベビーシッターとしての家庭訪問保育も可能です。また、18歳までの子ども達を援助する児童養護施設や障害児支援施設（かつての知的障害児施設、知的障害児通園施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設等）など多くの福祉施設で入所児・者を支援する仕事を担当することもできます。

### 食物栄養学科の特色

60年を超える伝統をもち、実践的な栄養士の育成を目標とする本コースでは、正規の授業を履修することで「栄養士免許」に加えて「栄養教諭免許」が同時に取得でき、また関連する資格である「フードスペシャリスト」や医療事務の資格である「医療秘書実務士」の資格も取得できますので、卒業後の活躍のフィールドが大きく広がります。

**食物栄養学科では、2018年度より男子学生の募集を開始しています。**

## 「幅広い知識を備えた 実践的な栄養士の育成」



土谷 政代  
TSUCHIYA MASAYO  
食物栄養学科長

東筑紫短期大学食物栄養学科は、創設64年の長い歴史と伝統のもと、北九州唯一の栄養士養成校として実践的な栄養士の育成に努めています。卒業生の多くが栄養士・管理栄養士として病院、福祉施設、教育機関などに勤務し、健康づくりの担い手として活躍しています。

本学科の特色についてご紹介いたします。まず一つ目に、実践実習を多く取り入れ、実学教育を中心としたカリキュラムを取り入れていること。二つ目に、クラス担任制による学生へのきめ細かな指導を行っており、学生と教員の

距離が近いこと。三つ目に、「栄養士免許」だけでなく、学校の教員である「栄養教諭二種免許」や医療関係の「医療秘書実務士資格」、食品の知識を生かした「フードスペシャリスト資格」など多数のライセンスが取得できること。四つ目に、九州栄養福祉大学3年次への編入制度があること。五つ目に、学費を全額・半額免除する「特待生制度」を導入していることです。

これらの特色を体系的に進めながら、本学の建学の精神である「筑紫の心」に基づいた人間力を育成することで、近年連続、就職率100%の高い実績を堅持しています。「食べることは生きること」人々の健康はもちろん、人々の健康作りをサポートできる栄養士を、是非、本学科で目指しませんか。

#### 学外実習では、小学校や病院などで 実践面に必要な知識を修得する

栄養士の免許取得のための学外実習は、小学校での学校給食実習の他に学生自身が自分の将来の就職先を考え、福祉施設や事業所、病院などから選択して一週間の実習を体験します。たとえば、病院実習では患者さんの年齢や症状に適した治療食の献立作成や食事指導の見学など、実践の場での必要な知識を学びます。

#### 医療の場で食事指導と医療事務の強みを活かす

最近では生活習慣病やメタボリックシンドロームが増え、食事療法の大切さがクローズアップされています。本学で取得できる「医療秘書実務士」は、病院・医院で窓口業務や事務処理を担当するだけでなく、栄養士の専門知識・技術を生かしながら外来患者さんに食事指導ができます。このように、ダブルライセンスの取得により自分の可能性を広げることができます。

#### 目標とする免許・資格

- ・栄養士
- ・栄養教諭二種免許状
- ・フードスペシャリスト
- ・医療秘書実務士
- ・日商PC検定(文書作成)
- ・診療報酬請求事務能力認定試験

#### 将来の職場

栄養士として、病院や小学校、さらに企業の社員食堂の調理担当、保育所や老人保健施設・特別養護老人ホームでの献立作成など、広範囲な食に関わる職場で能力を発揮することができます。加えて、病院・医院で医療事務スタッフとしての仕事と栄養管理・栄養指導の役割を兼ねれば、専門職としての高い評価を受けることでしょう。

子どもから高齢者への支援ができる  
介護福祉士を目指して



久門 裕子  
HISAKADO YUKO  
専攻科長

「建学の精神」の理念に基づき、保育士・幼稚園教諭の資格をもつ介護福祉士として、「福祉・医療・保育」の分野で社会に貢献できる人材を育成しています。

本科は2002年に設置され、保育士や幼稚園教諭資格とともに、介護福祉士の知識と技術を兼備した卒業生たちは、多様なニーズや課題に広い視野で対応できる人材として、福祉や保育の現場で活躍しています。

介護福祉士は、利用者の方に寄り添いながら、その方の望まれる「その人らしい暮らし」を支援

する他にはないオリジナリテイが魅力といえます。利用者の方から笑顔で「ありがとう」「嬉しい」など声をかけられ心が通い合ったときは、介護の楽しさを実感できるとてもやりがいのある仕事です。

「0歳から100歳までの方に对应できる」3つの資格を活用し、心身の障がいのある子どもから高齢者の方々の暮らしを支える「介護福祉のプロフェッショナル」の実現に向けて、私たち教員は全面的にサポート致します。

いま求められている介護福祉の専門家たち

少子高齢化問題が深刻化する現代において、子どもの育成と高齢者の介護は、社会が最優先で取り組むべき大きな課題です。本学は、時代の養成に迅速に応えるために、約60年にわたる保育学科の伝統を踏まえ、専攻科(介護福祉専攻)を設置しています。その目的は、保育士資格を有する方々に、さらに介護福祉士の資格を併せ持ってもらうこと。真の福祉のプロフェッショナルの育成です。保育と介護福祉の専門性を有する人材によって育まれる地域社会への貢献も、本学に課せられた重要な使命であると考えています。

職業選択の幅が大きく広がる二つの資格

保育士資格をお持ちの方は、わずか1年で、新たに「介護福祉士」への道が開かれています。児童福祉分野の専門性に加えて、高齢者や障がい者の介護福祉を学ぶことにより、幅広く職業を選択することができます。社会に求められる二つの国家資格は、将来の転職時にも大きな力となるでしょう。

第34回  
介護福祉士国家試験

本学合格率

75%

3名合格/4名受験  
全国合格率平均 72.3%

[ 専攻科(介護福祉専攻)出願資格 ]

- ・保育士資格を取得している方
- ・2023年(3月)までに保育士資格を取得見込みの方

目標とする免許・資格

- ・介護福祉士
- ・福祉住環境コーディネーター 2級・3級  
(当検定試験のための対策授業があります)

将来の職場

- ・介護保険施設
- ・グループホーム、居宅サービス、病院
- ・障がい者(児)支援施設
- ・保育所、児童福祉施設
- ・幼稚園 など

令和4年3月卒業生

## 東筑紫短期大学 免許・資格取得者数

### 保育学科

卒業生 125名

- 幼稚園教諭二種免許状 …………… 取得者数 **119**名  
(取得率95.2%)
- 保育士資格 …………… 取得者数 **125**名  
(取得率100%)
- レクリエーション・インストラクター …… 取得者数 **12**名
- 認定ベビーシッター …………… 取得者数 **51**名
- こども音楽療育士 …………… 取得者数 **16**名

資格ピックアップ

#### こども音楽療育士

- ・好きな音楽を誰かのために役立てることができます。
- ・子どもたちと音と音楽があるからこそできる、心と心が通いあう豊かなコミュニケーションを取ることができます。
- ・子どもたちの発達を理解し、音楽療育の理論と実践を学修することによって、忘れがたい深い出会いを体験できます。
- ・保育士業務において、保育および障がい児の療育において、発達にあわせた音楽遊びをします。音や音楽をつかって遊ぶことで、たくさんのごともと心と心が通いあうコミュニケーションができます。とくに、障がい児の発達支援では、確かな信頼関係が築け、こどもの成長とともに自らの成長も実感できます。
- ・幼稚園教諭…幼稚園の行事や保育において、歌、踊り、演奏などを用いた音楽遊びや音楽活動をします。

### 食物栄養学科

卒業生 69名

- 栄養士免許 …………… 取得者数 **68**名  
(取得率98.6%)
- 栄養教諭二種免許状 …………… 取得者数 **16**名
- 医療秘書実務士 …………… 取得者数 **33**名
- フードスペシャリスト資格認定試験  
…………… 合格者 **10**名  
／受験者12名

資格ピックアップ

#### フードスペシャリスト

- ・フードスペシャリストとは、食の本質が「おいしさ」、「楽しさ」、「おもてなし」にあることをしっかり学び、食に関する幅広い知識と技術を身につけた食の専門家です。フードスペシャリストは、食品の開発製造、流通、販売、外食などを担う食品産業をはじめ、食関係の広範な分野での活躍が期待されています。
- ・栄養士や管理栄養士のカリキュラムでは、健康維持に必要な栄養素供給源として食べ物を位置付けているように思えます。これに対してフードスペシャリストのカリキュラムでは、食の本質が「おいしさ」、「楽しさ」、「おもてなし」にあることをしっかり学び(フードスペシャリスト論、フードコーディネート論)、それを支える官能評価・鑑別論、調理学、食物学などの教育に力を入れています。

### 専攻科介護福祉専攻

卒業生 4名

- 介護福祉士国家試験合格者 …………… 合格者 **3**名

### サークルレポート①

## CIRCLE REPORT



#### 東筑紫短期大学 卓球部 成績

- ・ 令和3年度 全九州学生卓球選手権大会 出場 (令和3年11月；福岡市)
- ・ 令和4年度 全九州学生春季卓球選手権大会 出場 (令和4年5月；熊本市)
- ・ 令和4年度 全日本大学総合卓球選手権大会 出場 (令和4年7月；愛知県豊田市)
- ・ 令和4年度 全九州学生秋季卓球選手権大会 出場 (令和4年9月；福岡市)

就職指導課長 松成 翔

本学では、設置する各学科の特性を活かしながら、専門性の習熟だけにとどまらない、本学の建学の精神である「筑紫の心」にある勇氣・親和・愛・知性の四領域の調和・統合を目標とした人格教育にも取り組んできました。

就職指導課では各クラス担任の先生方と緊密に連携し、学生個々の希望に合う就職支援を提供しています。

本年度の就職率においても99.4%と、希望するほぼ全ての卒業生が就職という進路に到達することができました。これらは卒業生一人ひとりの努力の結果であると同時に、教職員が一丸となつて支援する教職協働の成果であるとも認識しています。

就職指導課では多様化する学生からの要望に対応すべく、年間を通してオリエンテーションや適性検査、キャリアガイダンスなど就職支援に係る様々なイベントの企画・運営に従事するほか、ICTを活用し情報発信の最適化にも取り組んでいます。

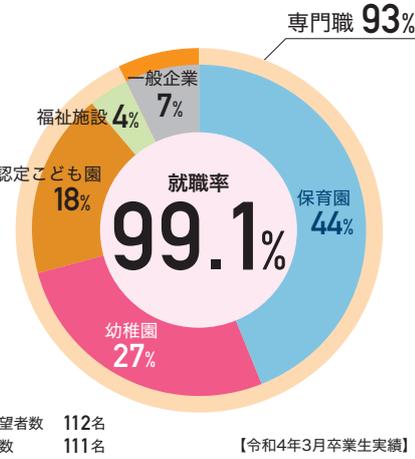
加えて、個別の学生相談にも柔軟に対応し、本人の意思や個性の把握にも努め、希望する目標へ到達できるよう課員一丸で支援する体制を整えています。

本学で学んだ専門知識と豊かな人間性を発揮し、地域社会から必要とされる人材へと飛躍してくれることを願っています。

保育学科

全国的な少子化の中、専門職の強みを大いに発揮し高い就職率を上げることができました。これも偏に本学の教育にご理解を頂き、採用して頂いた保育園、幼稚園、施設、企業の皆様のお蔭と弁え、ますます教育に力を入れていきたいと考えています。また、卒業生が様々な職場で活躍してくれていることも、この結果に繋がっていることを理解し感謝致しております。こうした要因のある中、学生一人ひとりの地道な努力と本年の卒業生が本学で学んだ専門知識・技術や経験を十分発揮し、社会貢献してくれることを切に祈っております。

幼稚園 (学)あおば学園 認定こども園(幼稚園型)あおば幼稚園、(学)安楽寺学園 いなつきれんげ幼稚園、(学)小川学園 小石幼稚園、(学)成松学園 成松幼稚園、(学)田中学園 認定こども園 めぐみ幼稚園、(学)東筑紫学園 東筑紫短期大学附属幼稚園、(社福)なのみ福祉会 なのみこども園、(社福)行橋むつみ会 むつみ保育園、(社福)宝寿会 ひびぎの保育園、ミアヘルサ(株)、下関市職員(保育士)、糸田町職員(保育士)、(株)アイグラン(あい保育園)、(社福)アソカの園 けいあい保育園、(保育園、社福)いわき福祉会 てんらいじほいくえん・はつねほいくえん、(社福)いわき福祉会 岡垣ほしのほいくえん、(社福)カトリック社会事業協会 聖母園、(社福)みそら保育園、(社福)育栄会 つばきパンピーニ保育園、(社福)栄美会 栄美保育園、(社福)栄法会 れんげの花保育園、(社福)皆輪会 つくし保育園・第2つくし保育園、(社福)喜久茂会 ふたば保育園、(社福)江松会 花園保育園、(社福)行橋むつみ会 いずみ保育園、(社福)高槻会 大蔵保育園、(社福)子育ての里 若草保育園、(社福)慈恵会 ほほえみ保育園、(社福)慈母の会 浄喜寺保育園、(社福)若葉保育所、(社福)周防会 三ツ葉保育園、(社福)勝山園 勝山保育園、(社福)真秋会 松若保育園、(松若保育園、社福)杉の実福祉会(保育所型)高見の森保育園、(森保育園、社福)清琴福祉会 花かご保育園、(社福)聖マリア会 聖母幼稚園、(社福)曽根保育園、(社福)相和会 行事保育園、(社福)八健会 さわかあだちのもり保育園、(社福)宝寿会 本城西保育園、(社福)法順会 足原だきしめ保育園、(社福)北九州市小倉社会事業協会、(社福)北九州市福祉事業団、(社福)北九州市門司民生事業協会、(社福)明和会 キンダーポート保育園、(社福)倫友会 香椎浜保育園、(社福)きずな やよい保育園、(社福)みのり保育園、(社福)光和苑 託児所さくらんぼ、(社福)杉の実福祉会 中央しおり保育園、(社福)清香会 清高保育園、(社福)北九州市保育事業協会 東筑保育園、放課後等デイサービスかのん、(学)济世学園 济世第一幼稚園、(学)神理学園 認定こども園 神理幼稚園、(学)龍南学園 星の原幼稚園、(学)いづみ学園 いづみ幼稚園、(学)むつみ学園 むつみ幼稚園、(学)ゆうゆう学園 吉田幼稚園、(学)愛和学院 愛和のぞみ幼稚園、(学)吉用学園 ことぶき幼稚園、(学)行学学園 若松青葉幼稚園、(学)高城学園 莉田みどり幼稚園、(学)三島学園 乳山幼稚園、(学)城戸学園 みずほ幼稚園・大地の子、(学)浄暁学園 あかつき幼稚園、(学)真観学園 下上津役幼稚園、(学)真観学園 霧ヶ丘幼稚園、(学)瑞聖学園 もんじゅ幼稚園・第二もんじゅ幼稚園、(学)石井学園 八幡みなみ幼稚園、(学)折尾愛真学園 愛真幼稚園、(学)川江学園 お宮の里幼稚園、(学)浅野学園 尾倉幼稚園、(学)多聞学園 わしみね幼稚園、(学)谷川学園 こみね幼稚園・こみね星ヶ丘幼稚園、(学)中間東学園 中間南幼稚園、(学)鳥井学園 明泉寺幼稚園・第二明泉寺幼稚園、



(学)田原学園 浜町幼稚園、(学)豊国学園 門司陸幼稚園、(学)本城学園 本城西幼稚園、尾倉すみれ幼稚園、U-TEC フォトスタジオ、(医)横光耳鼻咽喉科医院、(医)田原整形外科医院、(社福)小倉ろうあ福祉協会 小倉みどり園、(社福)北九州市手をつなぐ育成会、ひうら歯科クリニック、(医)なかお歯科/戸畑駅前セントラル歯科、(株)西日本写真社、小倉ゆめ歯科おとな歯科こども歯科、西日本スチールセンター(株)

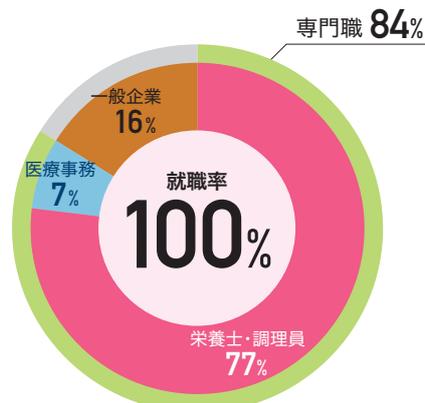
公務員 北九州市職員(※保育士)

## 食物栄養学科

食について専門性の高い教育を行い、人間にとって重要な食分野で社会的貢献のできる人材の育成に力を入れています。そして社会人になるにあたり、資格を持つということは単に就職という一時点の優位性だけではなく、生涯に及んでその人の人生を豊かで可能性の高いものにしていくと理解できるように教育を行っています。また、自分の将来性の方向をその資格の範囲でしか見ず、針の穴から覗くような狭い価値観で就職活動をすることにならないように、就職指導課では支援し、その結果、学生は社会性がありコミュニケーション能力を兼ね備えた人材として多くの内定を勝ち取りました。

**専門職**

(医) 森和会 行橋中央病院、(医) 尚齋会 エンゼル病院、(医) 松和会 門司松ヶ江病院、(学) 福岡育英学園 あさかわ幼稚園、(株) さくらサービス、(株) つくも 介護付有料老人ホーム すみの苑、(医) 愛彩会 愛デンタルクリニック、(医) 坂本クリニック耳鼻咽喉科、シダックスフードサービス(株)、(株) ティー・エフ・ビー、(株) トータル・メディカルサービス、(株) ドラッグストアモリ、(株) ホームラン・システムズ、(株) 錦、(株) 九州クリーンメディカル、(社福) なのみ福祉会 なのみこども園、(社福) 真如会 明星保育園、(社福) 真祐会 八幡東さくら保育所、(社福) 杉の実福祉会 高見の森保育園、(社福) 晴光会 光沢寺第二保育園、(社福) 清琴福祉会 花かご保育園、(社福) 年長者の里、(社福) 福祉松快園、(社福) 片野会 片野保育園、(社福) 鳳雲会 北九州乳児院、(社福) 北九州市門司民生事業協会、(社福) 和泉会、(社福) みのみ保育園、(社福) 聖会 コスモス保育園グループ、西日本フードサービス(株)、日清医療食品(株) 福岡支店、北九州市職員(栄養士)、(有) ナック(関西セントラルキッチン)、淀川食品(株)、(同) 菜の花クリエーション、(有) ウェルズ、



就職希望者数 60名  
就職者数 60名  
【令和4年3月卒業生実績】

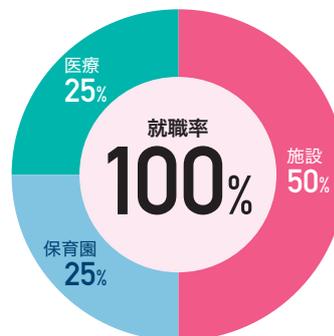
(医) 青樹会 松延歯科医院、(医) 田原整形外科医院、歯科ゆがわクリニック、(有) 八幡西調剤薬局、(株) プラスリード プラスエー山香、ジャパンエンジニアリング(株)、(学) 東筑紫学園 東筑紫短期大学附属幼稚園、(株) アテナ、(株) タカギ、(株) ワイズサービス、(株) 日専連ベネフル、日本磁力選鉱(株)、福岡京築農業協同組合、(株) 千草/千草ホテル、(株) SKY、(株) KATSU NUMBERS

## 専攻科

全員が介護福祉士の資格を取得し、希望の介護福祉関係の職場に就職することができました。  
高齢化社会での福祉の担い手として活躍してくれることを楽しみに、今後も地道な教育を行い、福祉の世界で社会的貢献のできる人材を育成して参ります。

**専門職**

(社福) 恵和会 特別養護老人ホーム 宏和苑、(社福) 北九州あゆみの会、(社福) いわき福祉会 はつねほいくえん、(医) 真鶴会 小倉第一病院



【令和4年3月卒業生実績】

## 進学・編入学など

九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 1名  
九州女子大学 家政学部 栄養学科 1名  
東京未来大学 こども心理学部 1名  
東亜大学 人間科学部 スポーツ健康学科 1名  
東筑紫短期大学 専攻科/介護福祉専攻 7名  
(学) 国際学園 九州医療スポーツ専門学校 看護学科 1名  
麻生情報ビジネス専門学校 北九州校 1名  
ヨンジン専門大学校 ホテル航空観光系列 韓国語コース 1名  
(学) 滋慶学園 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 1名

## 支援スケジュール

4月	●職業適性検査/1年(厚生労働省編一般職業適性検査) ●就職オリエンテーション/2年(就職についての心構えや就職調査票の記入など) ●就職ガイダンス/2年(履歴書の書き方など)
5月	●個人面談/2年(希望する業種や職種の確認など)
6月	●卒業生の講演/2年(OGからの就職アドバイスやメッセージなど) ●就職ガイダンス/2年(幼稚園関係への就職希望者のためのガイダンス) ●就職ガイダンス/1年(職業適性検査の結果や就職の心構えなど) ●外来講師の講演/2年(保育園園長などによる就職のポイントなど)
7月	●外来講師の講演/2年(企業の人事担当者による面接ノウハウなど)
12月	●卒業生の講演/2年(OGからの就職アドバイスやメッセージなど) ●外来講師の講演/2年(食物栄養学科へ向けてのマナー講座)
1月	●就職ガイダンス/1年(就職活動を終えた2年生からのアドバイスやメッセージなど) ●業界・業種研究会/1年

※略称表記について

(学) = 学校法人、(社福) = 社会福祉法人、(医) = 医療法人、(株) = 株式会社、(有) = 有限会社、(同) = 合同会社

九州栄養福祉大学 第17号

- 遠隔授業に対するリメディアル教育・学修支援委員の取り組み  
..... 河上 淳一・鳥山 昌起・神崎 良子・吉岡 奈々・四元 孝道・佐野 幹剛・室井 廣大・石橋 敏郎
- 生体力学的情報に基づく骨関節障害系理学療法教育に関して ..... 河上 淳一・鳥山 昌起
- パラスポーツの見学が科目選択学生の意識に及ぼす影響について ..... 鳥山 昌起・橋元 隆・室井 由起子・室井 廣大
- 理学療法学科の学内実習における学生満足度調査 ..... 早川 智之・河上 淳一・吉田 遊子・奥田 憲一・大峯 三郎
- 手の巧緻性に関する発達とその評価 ～ 手内操作の評価法の紹介 ～ ..... 佐野 幹剛
- 野球におけるイップスの実態  
— イップス経験者の割合, 症状, 発症要因, 対処方法に着目して — ..... 松田 晃二郎・相羽 枝莉子・須崎 康臣
- 読書ノート・調理ノートにおける学生の意識調査について  
～ キャリアガイダンスIIの取組み結果・評価(第2報)～ ..... 竹並 正宏・末村 明佳利・後藤 菜穂子
- 社会福祉の視点から考える食品ロスについての一考察(II) ～ 学生アンケート調査の日韓台比較 ～ ..... 竹並 正宏
- イメージの体験様式から見たトラウマとその治療 — 統合的な理解に向けて — ..... 松本 明夫
- 栄養教諭教職課程の学びをより良いものにするための一考察 — 履修学生による振り返りから — ..... 樋口 綾子
- 児童の食意識・食環境と心身の健康状態との関連性 ..... 安倍 ちか・沖田 千代・梅木 陽子・浜谷 小百合・太田 雅規
- いのちの境界線(3) ..... 中野 次吉

東筑紫短期大学 第51号

- デジタル時代におけるeビジネス教育の試案 ..... 山本 浩貴
- 美容師の技能熟練プロセスと店舗マネジメント上の諸問題 ..... 社川 武弘
- 美容における心理的作用について ～ 学生の美容に対する意識調査をもとに ～ ..... 恩田 美智子
- SNSを活用した人材の採用選考に関する本質的特性の研究 — いわゆるインフルエンサー採用を検討して — ..... 富山 禎信
- アクティブラーニングによる「保育・教職実践演習」の取組(4) ..... 前川 公一・寺本 普見子・都留 守・梶田 郁子・小島 久須美
- 幼小の円滑な接続を図る領域「環境」における保育活動の在り方 — 2  
～ 数量や図形の感覚を豊かにする活動を通して ～ ..... 前川 公一
- 音楽と福祉からの一考察 “音楽における感性と表現に関する領域「表現」”<sup>⑬</sup> ..... 北嶋 季之
- 幼児への音楽アウトリーチの実践と考察 ..... 笹部 聡子
- 日本国憲法の実践に関する一考察 — 中学校社会科公民的分野における実践に焦点を当てて — ..... 高橋 純一
- 富山市立堀川小学校における教育課程の特質に関する研究 — 「くらしの時間」に焦点を当てて — ..... 高橋 純一
- 地域・学校連携によるESD — 大牟田市における展開 ..... 吉田 浩一
- オープンソース・ソフトウェア活用事例 16  
— Xiboを用いたデジタルサイネージシステムの構築 — ..... 萩原 勇人・赤松 貴文・長田 裕之・下田 健太郎
- 介護福祉士養成課程の変遷に関する一考察 ..... 廣藤 智之

## 九州栄養福祉大学 第18号

- 入試選抜形態別入学者と運動療法学概論小テスト結果との関係性 ..... 高橋 精一郎・大峯 三郎
- 臨床実習への適応に必要なことは何か  
不適応、コミュニケーションの弱さが予測された2学生との振り返りを通して ..... 瀧 雅子
- 園芸療法の現状とその実用的効果に関する文献レビュー ..... 佐野 幹剛
- COVID-19 対策下における学生の生活様式の特徴と生活満足度 ～ 作業バランスを通して ～ ..... 青山 克実・長城 晃一
- 少子高齢化社会の日本と社会保障についての一考察 ～ 地球規模で論じる人口問題 ～ ..... 竹並 正宏
- 虐待を受けた子どもの理解と支援 — 現場の先生方のために — ..... 松本 明夫
- コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛が大学生に与えた影響: その1  
～ 生活面に着目して ～ ..... 樋口 綾子・安倍 ちか
- コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛が大学生に与えた影響: その2  
～ 心身の健康状態に着目して ～ ..... 安倍 ちか・樋口 綾子
- リハビリテーション学部における中途退学者の原因分析と防止の取り組み (1)  
..... 室井 廣大・佐野 幹剛・瀧 雅子・石橋 敏郎
- 栄養士制度の歴史の変遷について ..... 中野 次吉
- ジェイムズ『信じる意志』(訳、その7) ..... 吉田 正史

## 東筑紫短期大学 第52号

- アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の取組(5)  
..... 寺本 普見子・前川 公一・都留 守・井上 まゆみ・富田 智恵・吉田 千津子
- 改訂学習指導要領に基づく算数科学習指導案の作成 ～ どこを、どのように変えていくのか ～ ..... 前川 公一
- ピアノ学習支援の課題についての一考察 — ピアノ学習の実態調査から — ..... 津山 美紀・北嶋 季之・笹部 聡子
- 音楽と福祉からの一考察 音楽における 感性と表現に関する領域「表現」⑭ ..... 北嶋 季之
- コロナウイルス感染拡大状況下における保育実習指導 I (施設)の取り組みについての報告 ..... 古野 誠生・池畑 雅子
- 領域「表現」における音楽アウトリーチ活動の可能性に関する一考察 ..... 笹部 聡子
- 運動遊び指導における A 短期大学生の課題の検討 ～ 運動遊び指導の計画・実践から ～ ..... 児玉 亜由実
- 井上治郎の道徳資料論とその思想 ..... 吉田 浩一
- 学生の人権問題の認識に関する調査研究 ..... 吉田 浩一
- 介護総合演習と介護実習の教育効果について — プロセスレコード活用の試み — ..... 田中 文佳
- 幼稚園等施設における安全管理 (1) 園児の園バス送迎安全マニュアルについて ..... 吉田 千津子
- デカルトの方法序説にみる教育原論の端緒 — 自己の生成と形成に関して — ..... 土屋 靖明



# 元気にシニアライフを愉しもう 2022

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学のキャンパスで学ぶ  
北九州市立年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ

回	開講日	1時限(13:00~14:30)	2時限(14:40~16:10)
1	9月7日 (水)	<b>開講式 オリエンテーション</b>	<b>昔と今「子どもの遊び」</b> 東筑紫短期大学保育学科 教授・学科長 寺本 普見子
2	9月14日 (水)	<b>「むせ」ってなに? 嚔下について学ぼう!</b> 東筑紫短期大学食物栄養学科 教授 近藤 順子	<b>墨流しを愉しもう</b> 東筑紫短期大学保育学科 准教授 都留 守
3	9月21日 (水)	<b>あなたの英語通じますか?</b> 九州栄養福祉大学食物栄養学部 食物栄養学科 准教授 梅崎 義雄	<b>災害と福祉について ~災害時における介護福祉職の役割とは~</b> 東筑紫短期大学専攻科 准教授 廣藤 智之
4	9月28日 (水)	<b>あなたは大丈夫? 「ロコモティブシンドローム」を予防しましょう!</b> 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部 理学療法学科教授・学科長 廣滋 恵一	<b>どこでもできる かんたんエクササイズ</b> 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部 理学療法学科 講師 時任 真幸
5	10月5日 (水)	<b>楽しく! 脳トレ ~チャレンジ コグニサイズ~</b> 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授 吉岡 奈々	<b>日々の出来事に感謝してみよう!</b> 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部 作業療法学科 助教 久保 昂大
6	10月12日 (水)	<b>私たちにできること ~ SDGsから学ぶ ~</b> 九州栄養福祉大学食物栄養学部 食物栄養学科 准教授 小野 要	<b>リズム・リズム・リズム♪ ~手作り楽器で音楽を楽しみましょう~</b> 東筑紫短期大学保育学科 准教授 笹部 聡子
7	10月19日 (水)	<b>サステナブルに食べましょう! ~健康寿命の延伸を目指して~</b> 九州栄養福祉大学食物栄養学部 食物栄養学科 准教授 渡辺 響子	<b>レクリエーションで心を元気に!</b> 東筑紫短期大学保育学科 助教 児玉 亜由美
8	10月26日 (水)	<b>元気に長生きするために 12</b> 東筑紫学園 理事長 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長 室井 廣一	<b>閉講式</b>

## 北九州市民カレッジ

様々な講座が設けられる中、本学では毎年【大学連携リレー講座】に講師を派遣しています。

- 令和2年度後期【大学連携リレー講座のテーマ:メディアと私たちのよりよい関係づくり】全7回講座の内、第3回目を九州栄養福祉大学 赤松貴文 教授が講師として担当しました。

第3回テーマ

「インターネットについてじっくり考える2時間」  
~正しく恐れて、上手に活用~

- 令和3年度後期【大学連携リレー講座のテーマ:コロナ禍下での暮らし方】全6回講座の内、第1回目を九州栄養福祉大学 沖 勉 教授が講師として担当しました。

第1回テーマ

「変化する社会の中、あえて自分流の生き方を」

### 北九州市事業『北九州市民カレッジ』

市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進および『循環型生涯学習社会』を担う人材の育成をはかります。



### 編集後記

秋も深まり、紅葉便りが聞かれる季節となりました。皆様、どんな秋を堪能されていますか?

この度「拓く」39号を発行することができました。寄稿や取材にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大等のため残念ながら休刊となりましたが、今年度も年度掲載できなかった令和2年度の一部情報も、令和3年度と合わせてご紹介いたします。ぜひご覧ください。

さて「拓く」の歴史を振り返りますと、昭和59年12月15日に学生部就職指導課より『就職新聞 拓く 第1号』として発行されたのが始まりです。昭和61年には大学全体の『広報誌 拓く』に発展させ改めて創刊されました。この創刊に尽力されたのが、当時の学生部長、現理事長・学長室井廣一先生です。室井先生には今号でも、本学の建学の精神「筑紫の心」に基づく教育理念について、執筆いただきました。学生やご家族の皆様にご覧いただきたく思います。私たち関係者も熟読し、共通理解した上で本学の教育に携わろう努めたいと思います。

私事ですが、前出の昭和61年の『拓く』には、当時保育科2年生だった私の拙い文章も掲載していただきました。30年以上を経て、今度は作成する側として関わることができ、喜びとご縁を感じております。今後も広報誌『拓く』をより良いものとするため、ご意見ご感想などお寄せいただけますと幸いです。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

企画情報室 木村 幸代

